LIXIL
INAX

保証書付

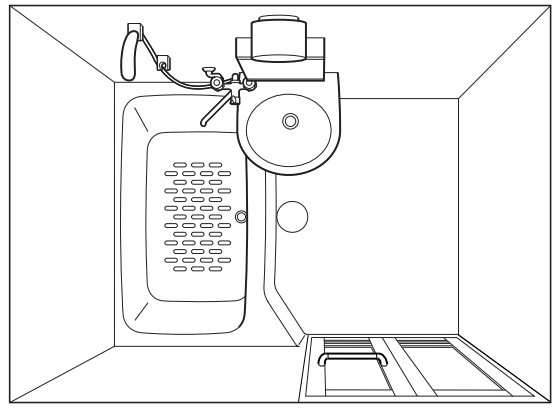
集合住宅用

ユニットバスルーム

※対象品番は、表紙の裏ページを参照して品番をご確認ください。

取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。



この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書と水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

取付業者の皆様へ
この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

対象品番の見方

■対象品番の見方

BLP - 1216 TBZE
❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻

❶ユニットの設備
B…浴槽付
L… 洗面器付

❷ユニットの床構造
P…パンパネルタイプ
H…ハーフステージタイプ

❸サイズ
1216・1116・1115・1014

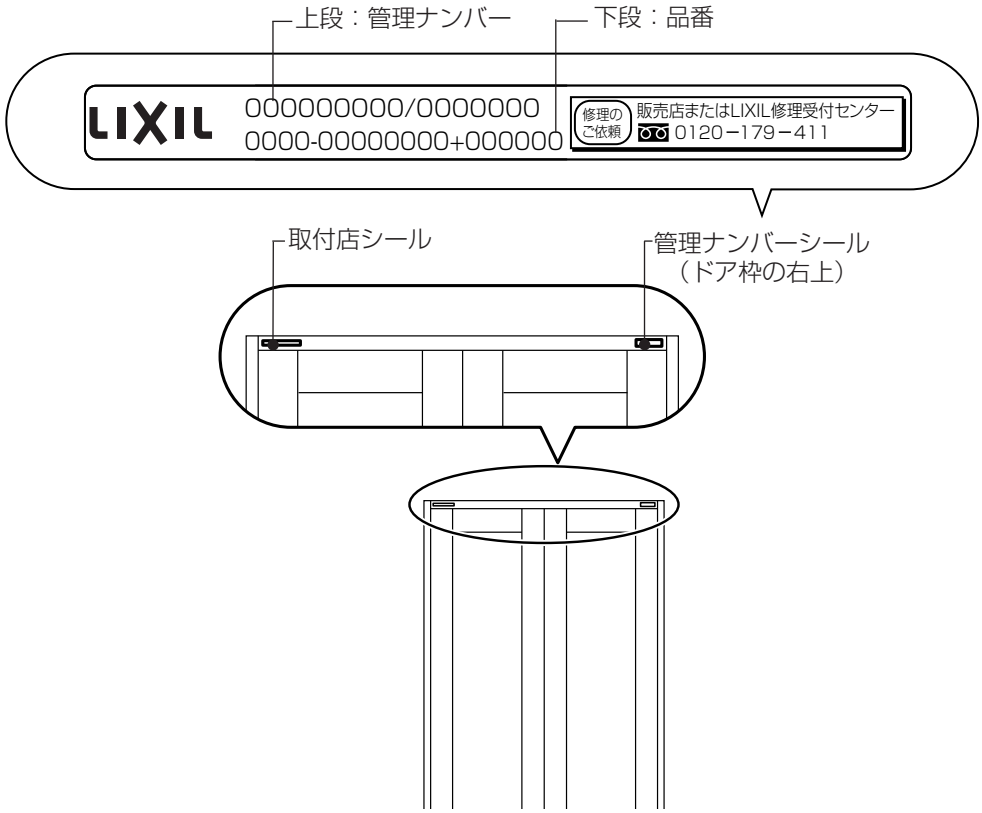
❹壁面の仕上げ
T… タイルパネル
S…Lパネル（マット）・化粧鋼板

❺床面の仕上げ
B… FRP

❻ユニットのグレード
ZE… ZEタイプ
ZE2… ZE2タイプ
WE2…WE2タイプ

■品番を調べるには

浴室内側ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで管理ナンバーと品番をご確認の上、お問い合わせください。



もくじ

オプション品も併せて掲載しています。
お客さまの商品に該当する部品をご確認ください。

各部のなまえ ……1

専用の取扱説明書について ……2

安全上のご注意 ……3

さあ、お風呂に入りましょう ……6

故障をおこさないためにお守りください ……7

ご使用方法 ……8

- お湯をためる ……8
- お湯を使う ……9
- ドアを開閉する……15
- 器具を使う……20

お手入れ方法……28

- お手入れについて……28
- 浴槽まわりのお手入れ……33
- 壁・床・天井のお手入れ……35
- 浴槽下のお手入れ……39
- アクセサリー類のお手入れ……40
- 水栓のお手入れ……43
- ドアのお手入れ……49
- 照明のお手入れ……50
- 換気扇・暖房機のお手入れ……53
- メンテナンス時の点検口の取外し……56

故障かな？と思ったら……57

交換部品のご案内……60

アフターサービスについて……62

浴槽のサイズ・容量について……64

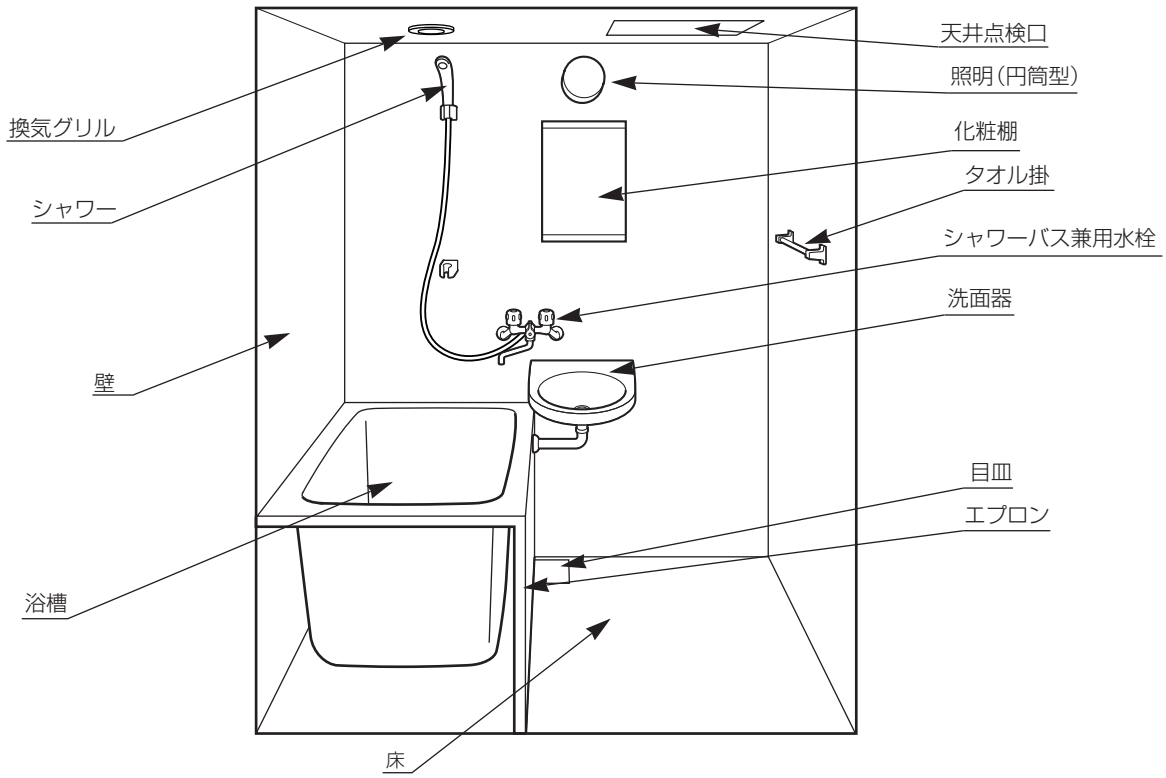
保証書……65

各部のなまえ

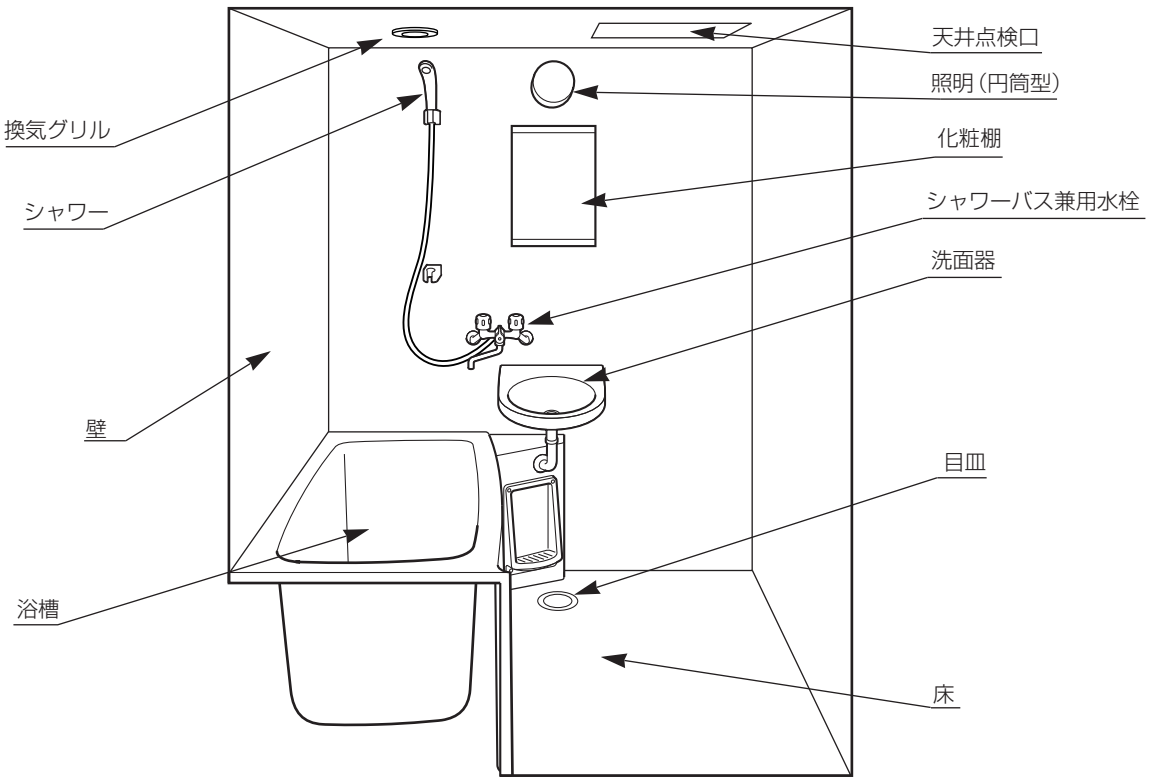
■各部のなまえをあらわしています。

※ この図は、各商品の組み合わせの一例です。組み合わせが異なったり付属しない商品もあります。

BP・BLPタイプ



BH・BLHタイプ

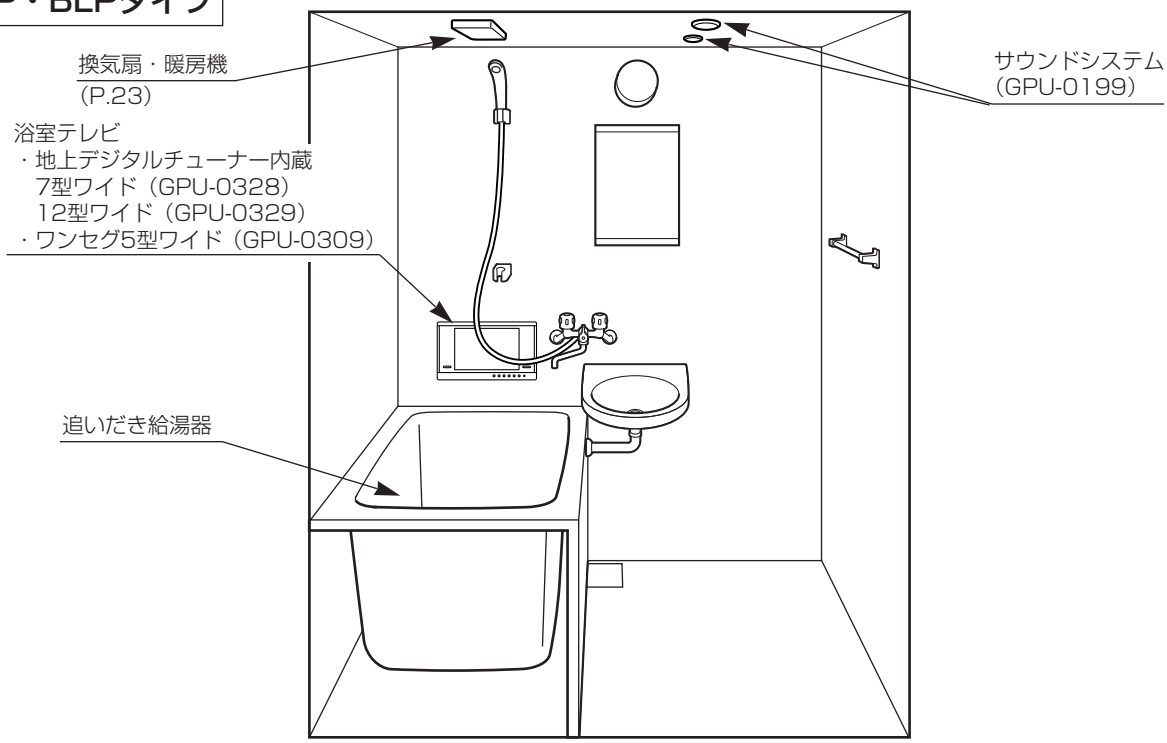


専用の取扱説明書について

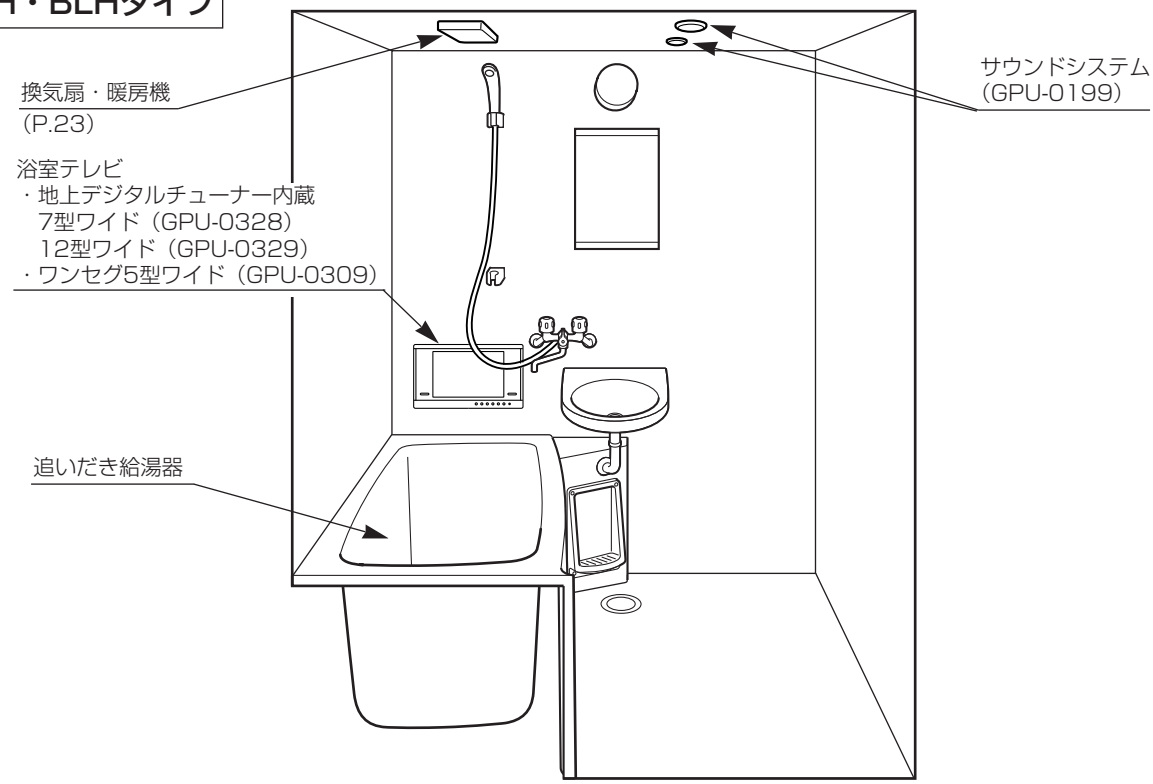
■以下の商品の使用方法については、詳しくは各商品付属の「取扱説明書」をお読みください。

※（　　）内の品番は、各商品付属の取扱説明書品番を示します。
※ 誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
※ この図は、各商品付属の取扱説明書の一覧を表しています。付属しなかったり、組み合わせできない商品もあります。

BP・BLPタイプ



BH・BLHタイプ



安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※ 水栓、換気扇、アクアジェット等の専用取扱説明書が商品に付属である場合は、専用取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 本体表示（ラベル）は、はがさないでください。

■表示マークについて

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告 **「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」**

⚠ 注意 **「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」**

■絵表示について

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

🚫 「分解してはいけません！」

🚫 「指示した場所に触れてはいけません！」

❗ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●分解・修理・改造をしない

分解・修理・改造はしないでください。
※ **感電や故障する恐れ**があります。

●風呂フタ

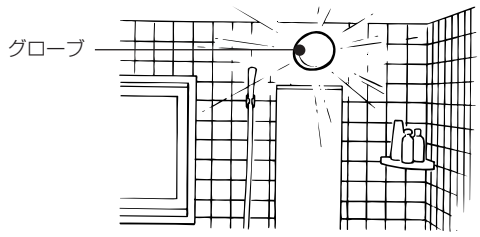
風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●水栓や換気扇等の取扱い

水栓や換気扇等は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 誤った使い方をすると、**ヤケドや感電・ケガや故障の恐れ**があります。

●照明や換気扇

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※ **火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。



照明器具にタオル等をかけないでください。
※ **過熱して火災になる恐れ**があります。

照明器具のランプ交換や換気扇等のお手入れをする場合は、必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※ **感電やケガをする恐れ**があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

●浴槽へのお湯張り

浴槽排水栓は、しっかりと閉まっていることを確認してください。
お掃除等で排水コアを取り外した時は正しくはめ込んでください。（P.34参照）
また、追いだき機器をご使用の場合、水を循環口より10cm以上入れてください。
※ 追いだき機器をご使用の場合排水栓のはめ込みが不十分ですと、湯が抜けて空だきによる**火災や機器が故障する原因**となります。

●幼児や身体の不自由な方の入浴

幼児や身体の不自由な方だけで入浴させないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●幼児だけで遊ばせない

浴室内で幼児だけで遊ばせないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

⚠ 注意

●ケガ・ヤケド

換気扇・暖房機運転中はフロントカバーを外して羽根やヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※ **感電やケガ・故障の恐れ**があります。

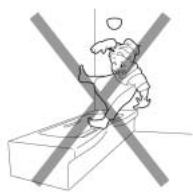
浴槽に飛び降りる等、無理な力を加えないでください。
※ 浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※ 急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。

ものをぶつける等、**鏡や壁・照明カバー**への衝撃はお避けください。
※ 表面がキズついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。

浴槽や洗面器の上に乗らないでください。
※ 転倒して**ケガをする恐れ**があります。



スライドフック付握りバーをご使用の場合に、スライドフックを鏡や壁にぶつけたりしないでください。
※ スライドフックや壁がキズついたり、鏡が割れて**ケガをする恐れ**があります。

お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※ 突起部分やすき間等で**ケガをする恐れ**があります。

高い位置の**収納部**にガラス容器等割れやすいものは収納しないでください。
※ 誤って落下させますと割れて**ケガをする恐れ**があります。

点検口に無理な力や衝撃を加えないでください。
※ 点検口が割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

追いだき循環口に足をかけないでください。
※ 追いだき循環口が外れ、**転んでケガをしたり、ヤケドをする恐れ**があります。

シャワーヘッド・シャワーフックに無理な力を加えないでください。
※ 破損して**ケガをする恐れ**があります。

シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。
※ シャワーヘッドにキズがつき、**ケガをする恐れ**があります。
※ タイルに割れ、欠け、キズが生じ、**ケガをする恐れ**があります。

浴室内は石けん液や入浴剤等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※ 転んで**ケガをする恐れ**があります。

付属の**風呂フタ**以外をお使いになる場合は、風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお選びください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

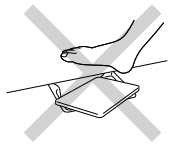
エプロンに無理な力や衝撃を加えないでください。
※ エプロンが割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

●ケガ・ヤケド

目皿は正しく設置してご使用ください。また、目皿裏面のゴムを外して使用したり（一部機種）、目皿に体重をかけないでください。
※ 足を踏み外したり、すべって転び**ケガをする恐れ**があります。



●無理な力を加えないで

窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。

洗面器・カウンターに乗ったり無理な力を加えたりしないでください。
※ **破損や漏水する原因**となります。

収納棚に無理な力を加えないでください。
※ **破損しケガをする恐れ**があります。

●冬期凍結の恐れがある時期

冬期凍結の恐れがある時期（浴室内温度が零度以下へ低下）に長期間使用しない場合は、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや封水筒を外してから不要になったタオル等をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気があがってこないようにしてください。
※ トラップ内の水が凍結し、トラップが**破損、漏水する恐れ**があります。

●目地のキズに気をつけて

床・壁・天井・窓枠等の継目部分の目地材（または、コーキング材）をはぎ取ったり、キズつけないでください。
※ **漏水の原因**となります。

●ドア

ハンドルが外れかけている場合やとびら端部の部品が外れた場合は、ドアを開閉しないでください。
※ 浴室に閉じ込められたり、ケガをする恐れがあります。

とびらの周囲に手を触れたままドアを開閉しないでください。
※ 指をはさむ等ケガをする恐れがあります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

●自分で取り付けないで

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等にご相談ください。
※ 誤った取付けをすると思わぬ**事故や漏水の原因**になることがあります。

浴槽内握りバーや握りバーがグラついたり、固定がゆるんでいるときは、必ず販売店にご連絡ください。
※ そのまま使用されると**ケガや破損の恐れ**があります。

ご自分で壁に穴をあけて、**握りバーやタオル掛**等を取り付けないでください。
※ **漏水の原因**となります。

●溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※ **漏水の原因**となります。

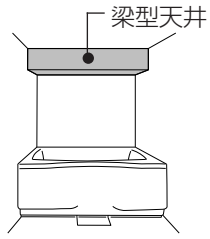
以下の水や入浴剤は使わないでください。
・水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
・硫黄系、酸・アルカリ系の入浴剤
・溶剤、オイル、アルコールを含む入浴剤
・粉末でお湯に溶けにくい入浴剤
※ **浴槽・床・カウンター表面の変色やパッキン、目地材やゴム部品等を傷め、漏水の原因**となります。

固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※ **金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因**となります。

化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※ 付着したままの状態で放っておくと**漏水や変色、割れ等の原因**になります。

●梁型天井に注意

梁型天井に頭等をぶつけないよう注意してください。
※ 天井のカドで**ケガをする恐れ**があります。



●照明について

照明の点灯中は発光部を直視し続けないでください。
※ 目を傷めたり、目がくらみ転倒してケガをする恐れがあります。

さあ、お風呂に入りましょう

入浴前

1 給湯器でお湯の温度を設定する

給湯器の設定温度は50～60℃に設定してください。
※給湯器の温度調節等は給湯器の取扱説明書をご覧ください。

2 排水栓を閉める

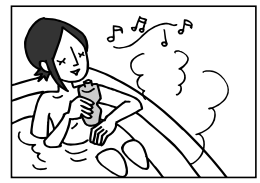
※サーモスタット混合栓は、湯水を混合するため給湯器の設定温度よりぬるめのお湯が出ます。適温のお湯を出すためには、50～60℃の設定をおすすめします。

3 お湯をためる

本書P.9をご参照ください。

入浴剤や温泉水、風呂水清浄剤について

入浴剤や使う水（温泉水等）によっては、浴槽・床・カウンター表面の変色やパッキン、目地材やゴム部品等を傷め、漏水の原因となることがあります。



●以下の水や入浴剤は使わないでください。
・水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
・硫黄系、酸（炭酸水素塩（炭酸水素ナトリウム等）、フマル酸を含む入浴剤等）・アルカリ系の入浴剤
・溶剤、オイル、アルコール、塩分を含む入浴剤
・お湯に溶けにくい入浴剤（粉末等）
●入浴剤（粉末等）は、底に滞留しないようによくかき混ぜてください。
また、入浴剤入りのお湯を浴槽に入れたまま、またはカウンター、床等についたまま長時間放置しないでください。
●入浴剤の注意書きをよく確認し、浴槽や風呂釜、機器への影響が記載されているものは使わないでください。
不明点は入浴剤メーカーにお問合せください。
●入浴剤を使う場合は浴槽・機器・風呂釜等を定期的にお掃除してください。
●入浴剤の種類によっては浴槽内、床等、すべりやすくなることがあります。
●風呂水清浄剤（錠剤タイプ）を使用する際は、底に滞留しないようによくかき混ぜてください。
※排水栓が劣化・腐食する場合があります。

入浴中

ホッとできる入浴のために、本書をお読みのうえ正しくお使いください。

非常時のドアの外し方

浴室のドアは、非常時等に浴室外側からドアを外すことができます。
本書P.18をご参照ください。

入浴後

次の人にお湯を残しておく場合

風呂フタをしておくと、お湯がさめにくくなります。

翌朝までお湯を残しておく場合

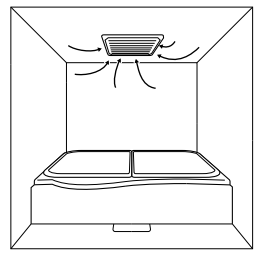
翌朝までお湯を残しておく場合は、湿気を防ぐため風呂フタをして換気します。 (→)

気温が低く水道管凍結の恐れがある場合

- 浴槽のお湯を排水し、追いだき配管の水抜き、または追いだき配管のヒーターの電源を入れます。
- 水栓の水抜きをします。
（本書P.47～48をご参照ください。）

換気する

換気扇を回すか、窓を開けて十分に換気します。
床やカウンター等の水は軽くふきとるとさらに効果的です。



浴室のお手入れはガンコな汚れを作らないことが大切です。
毎日の汚れや汚れの原因はその日のうちに落としましょう。

故障をおこさないためにお守りください

お願い

●使用用途について

この商品は一般家庭用です。業務用等一般家庭用以外で使用しますと、寿命が著しく短くなる場合があります。

●重いものや硬いものを落とさないで

重いものや硬いものを落とさないでください。
※ **キズの原因**となります。

●金属類を放置しないで

ヘアピン・カミソリの刃等を長い間放置しないでください。
※ **サビが付着して取れなくなる場合**があります。

●火を近づけないで

タバコ等の火気を近づけないでください。
※ **キズ・ヒビ割れの原因**となります。

●鏡くもり止めキットについて

鏡くもり止めキットをはじめてご使用になる場合は、浴室鏡のくもり止めを、10cm～20cm離して鏡にスプレーし、ティッシュ等で一面に薄く広げて乾燥させてください。入浴後にシャワーのお湯または水を全面にかけながら、柔らかいスポンジで洗っていただきますと効果が持続します。鏡くもり止めキットは鏡以外には塗らないようにしてください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
※ 表面が**変色する恐れ**があります。

●化粧品（毛染め剤等）の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液を使用されるときは、必ずシート等で床等を保護してください。
※ 付着すると**シミになる場合**があります。

●吸盤付製品の使用について

吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※ **変色する恐れ**があります。

●冬期凍結の恐れがある場合について

凍結の恐れがある場合は､各々の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※ 冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯器をご使用の場合は、給湯器の取扱説明書に記載の凍結防止処置を行ってください。
※ **破損や故障の原因**となります。

●風呂水清浄剤について

風呂水清浄剤（錠剤タイプ）を使用する際は、浴槽底に滞留しないようによくかきまぜてください。
※ 排水栓が劣化・腐食する場合があります。

●浴槽で漬けおき洗いをしないで

浴槽で漬けおき洗いをしないでください。
※ **浴槽が変色したり、劣化する恐れがあります。**

●排水トラップの封水について

排水トラップの水（封水）が蒸発等により減少、または無くなっている場合は、排水トラップに水をためてください。
※ 排水トラップの水（封水）が無くなると**臭気・害虫の侵入や、ガスにより金属・メッキ部品のサビの原因**となります。

●すのこ等の使用について

すのこ、バスマット等を床に敷いた後は、水洗いして壁に立てかけてください。
※ **カビ、変色、ニオイの原因**となります。

●浴槽浄化保温機について

●浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※浴槽浄化保温機（24時間バス）を継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進すること**があります。

●シャワーヘッドを浸さないで

シャワーヘッドを浴槽・洗面器等に浸さないでください。
※ 一度吐水された湯水等が**配管に逆流する恐れ**があります。

●ジェルステッカー・ジェリーグミは張らないで

ジェルステッカー・ジェリーグミ等は鏡、タイル（目地を除く）、窓（ガラス面のみ）以外に張らないでください。
※ **色が付着して取れなくなる場合**があります。

●洗面器と浴槽の同時排水について（BLP・BLHシリーズ）

ユニットバスの洗面器にためた水と浴槽の水を同時に排水しないでください。。
※ 排水トラップから**水があふれる場合**があります。

●風呂イス・洗面器について

脚が金属等硬い材質の風呂イスや洗面器は使わないでください。
※ **床やカウンターにキズが付いたり、表面がケズレる原因となります。**

●ドアについて

ハンドルに重いものを掛けないでください。
※ **とびらやハンドルが変形・破損する恐れがあります。**

●入浴剤の使用について

入浴剤入りのお湯を浴槽に入れたまま、またはカウンター、床等に付いたまま長時間放置しないでください。
※ **表面が変色、変質する恐れがあります。**

●ラジオの使用について

照明器具にラジオを近づけると雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置まで、ラジオを離して使用してください。

排水栓を開閉する

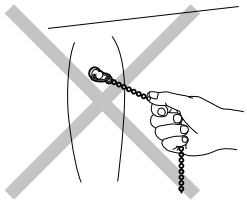
■排水栓の種類

お使いの器具をご確認ください。

ゴム栓

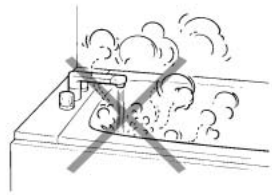
⚠ 注意

ゴム栓の玉くさりを強い力で引っ張ったり、玉くさりの取付部を無理に回さないでください。
※ **漏水や、排水栓が破損する原因**となります。



お願い

お湯は温度を調節して給湯してください。
※ 直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎると**浴槽や排水金具を傷めたり、商品の寿命を短くする原因**となります。



お掃除等で、排水コアを取り外した後、再度取り付ける場合は正しくはめ込んでください。

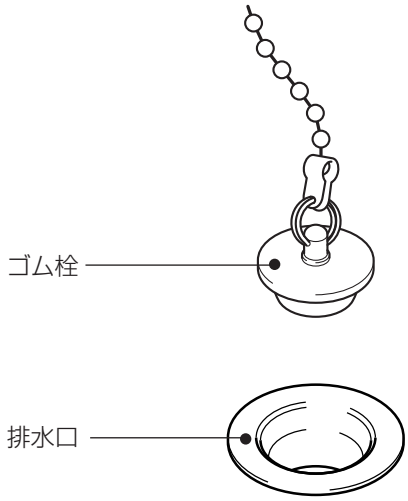
■ゴム栓の場合

お願い

ゴム栓を抜く場合は、チェーンを持たずにゴム栓に付いているリングを持って抜いてください。
※ **破損の原因**となります。

ゴム栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

※ ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れていく場合は、34ページのゴム栓のお手入れを参照して、排水コアをきちんとはめ直してください。（BH・BLHシリーズの場合）



水栓について

⚠ 注意

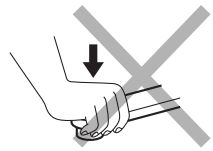
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースが高温になることがあります。
金属部の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ **ヤケドをする恐れ**があります。

ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※ **ウォーターハンマー（衝撃音）が発生する**ことがあります。
※ 配管から漏水し、**家財等をぬらす原因**となります。

お使いになる前に切替ハンドルが吐水口側かシャワー側か確認してください。
※ 不意に水をかぶったり、高温の湯で**ヤケドをする恐れ**があります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※ **破損やケガをする恐れ**があります。

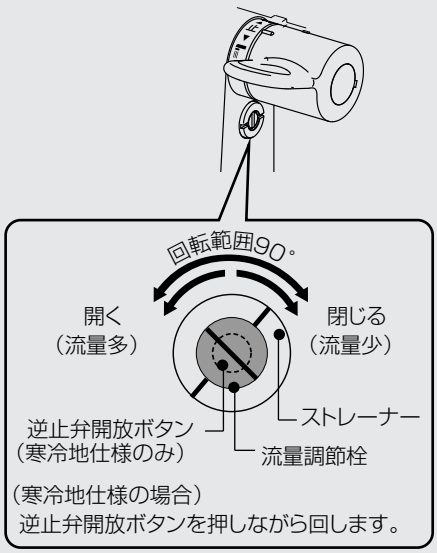


使用後は、必ず温度調節ハンドルの目盛りを「40」以下に戻しておいてください。
※ 次に使用するときに、高温のお湯が吐出し、**ヤケドをする恐れ**があります。

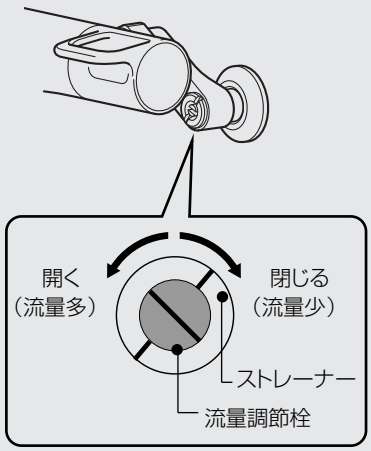
凍結が予想される場合は、水栓の取扱説明書をご覧になり水抜きを行ってください。
※ 凍結破損で漏水し、**家財等をぬらす恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

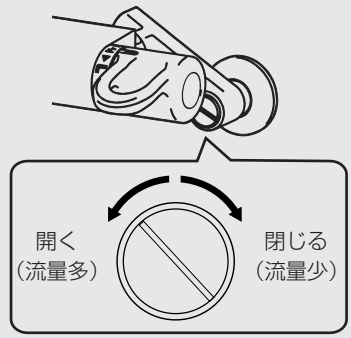
サーモ水栓には湯側と水側に流量調節栓がついていて、それぞれ流量の調節ができます。
※流量調節栓の回転範囲は水栓により異なります。
水栓の流量を調節することで吐水温度の不安定等を解決できる場合があります。
（詳しくは「故障かな？と思ったら」（P.58）をご参照ください。）



サーモスタット付デッキ水栓の場合



壁付サーモ水栓の場合
（クロマーレ、ノルマーレ）

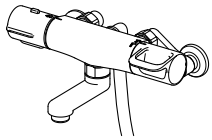


壁付サーモ水栓の場合
（アステシア、ミーティス）

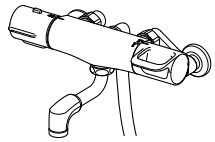
水栓を使う

■水栓の種類

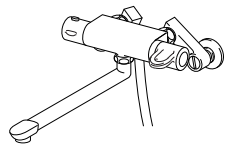
お使いの水栓をご確認ください。



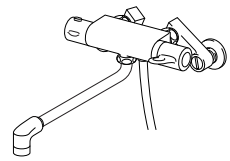
壁付サーモ水栓
（クロマーレ）
代表品番
BF-HB145T-PU
BF-HB145TN-PU
BF-HB145T(250)-PU
BF-HB145TN(250)-PU
(GMS-1572)



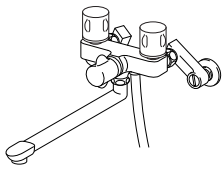
壁付サーモ水栓
（ノルマーレ）
代表品番
BF-HE145T-PU
BF-HE145TN-PU
BF-HE145T(250)-PU
BF-HE145TN(250)-PU
(GMS-1572)



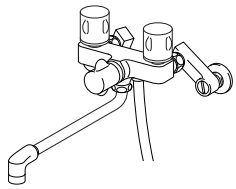
壁付サーモ水栓
（アステシア）
代表品番
BF-7145T-PU2
BF-7145TN-PU2
BF-7145T(250)-PU2
BF-7145TN(250)-PU2
(GMS-1077)



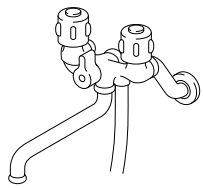
壁付サーモ水栓
（ミーティス）
代表品番
BF-M145T-PU1
BF-M145TN-PU1
BF-M145T(250)-PU1
BF-M145TN(250)-PU1
(GMS-1078)



壁付ツーハンドル水栓
（アステシア）
代表品番
BF-7115H-PU6
BF-7115HN-PU6
BF-7115H(250)-PU6
BF-7115HN(250)-PU6
(GMS-1062)

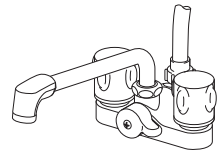


壁付ツーハンドル水栓
（ミーティス）
代表品番
BF-M115H-PU2
BF-M115HN-PU2
BF-M115H(250)-PU2
BF-M115HN(250)-PU2
(GMS-1062)



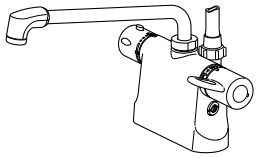
壁付ツーハンドル水栓

代表品番
BF-651-PU4
BF-651-U-PU4
BF-651(250)-PU4
BF-651(250)-U-PU4
(GMS-0083)



ツーハンドルデッキ水栓

代表品番
BF-M606-PU2
BF-M606-U-PU2
(GMS-1065)



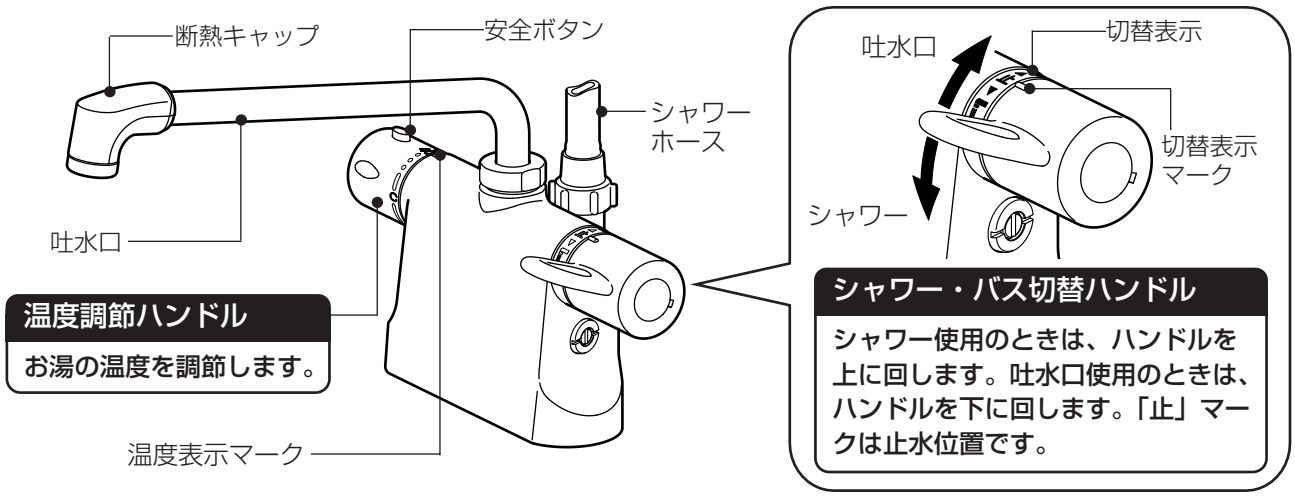
サーモスタット付デッキ水栓
（ビーフィット）
代表品番
BF-B646T(300)-A100-PU5
BF-B646TN(300)-A100-PU5
(GMS-1356)

■サーモスタット付水栓（デッキタイプ）の場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

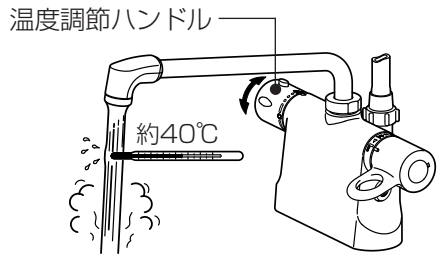
ONE POINT ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

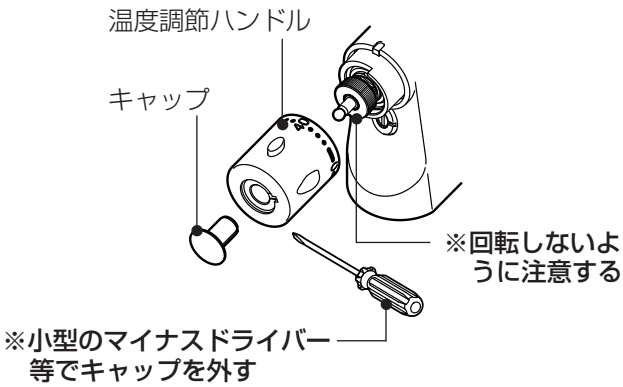


温度調節ハンドルの表示と吐水温度が異なるときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

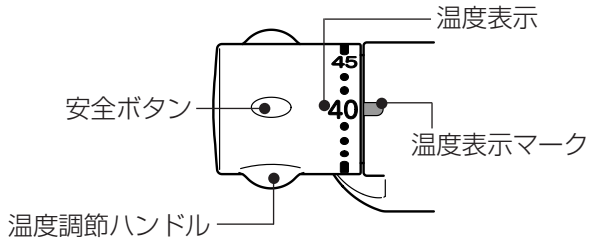
❶ 全開吐出し吐水口から出る湯の温度が、約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。



❷ 吐出温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「止」位置にあわせ止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意してキャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。

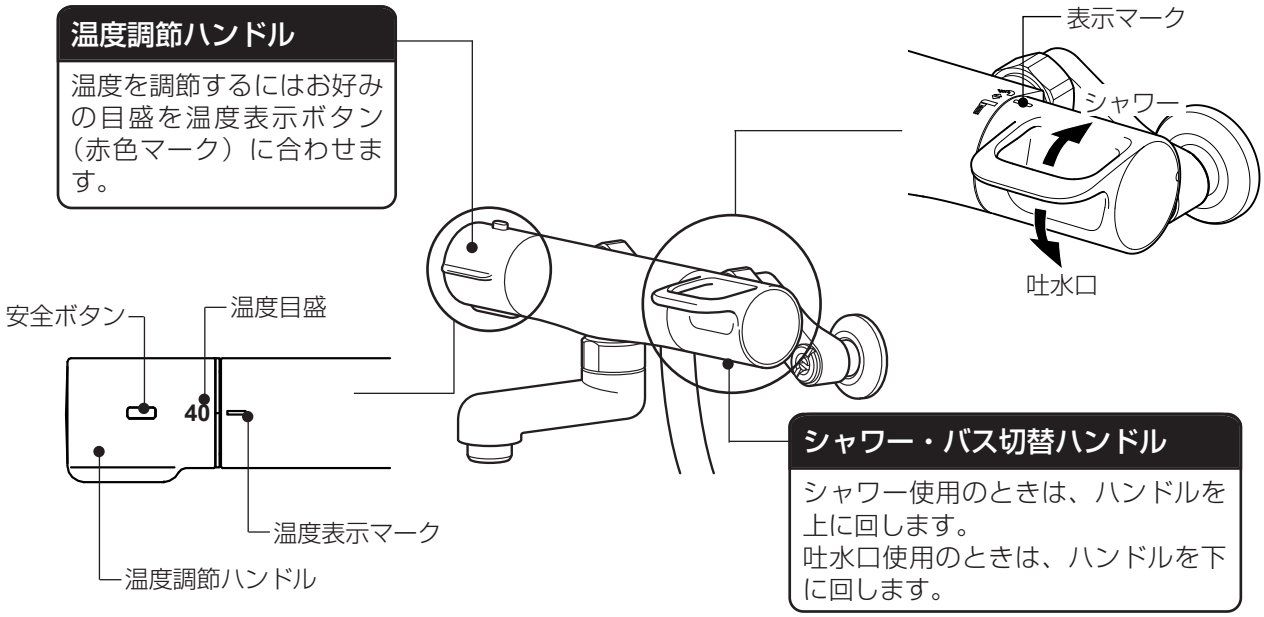


❸ 抜き取った温度調節ハンドルの温度表示マークが温度表示の「40」に合うように温度調節ハンドルを取り付けてキャップをします。



■壁付サーモ水栓（クロマーレ、ノルマーレ、アステシア、ミーティス）の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（クロマーレ・ノルマーレ：GMS-1572、アステシア：GMS-1077、ミーティス：GMS-1078）をご覧ください。



ONE POINT ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

温度調節ハンドルの表示と吐水温度が異なるときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

❶ 流量を最大にして吐水したお湯の温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

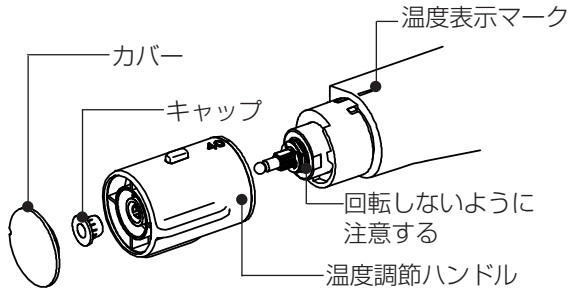
❷ 吐水温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの表示マークを「止」の位置に合わせ止水します。

❸ カバー、キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。
※ キャップを外すと、温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。
※ 温度調節ハンドルが回転しないように注意してください。

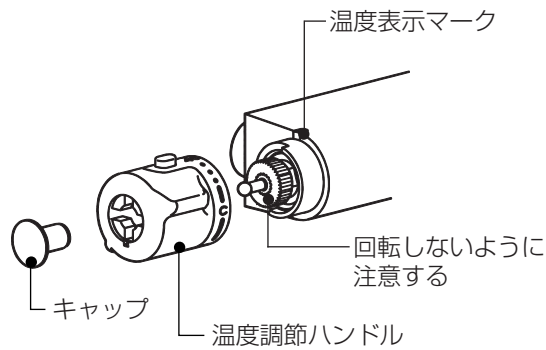
❹ 抜き取った温度調節ハンドルの温度表示「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルを取り付けます。

❺ カバー、キャップをはめ込みます。

〈クロマーレ、ノルマーレの場合〉

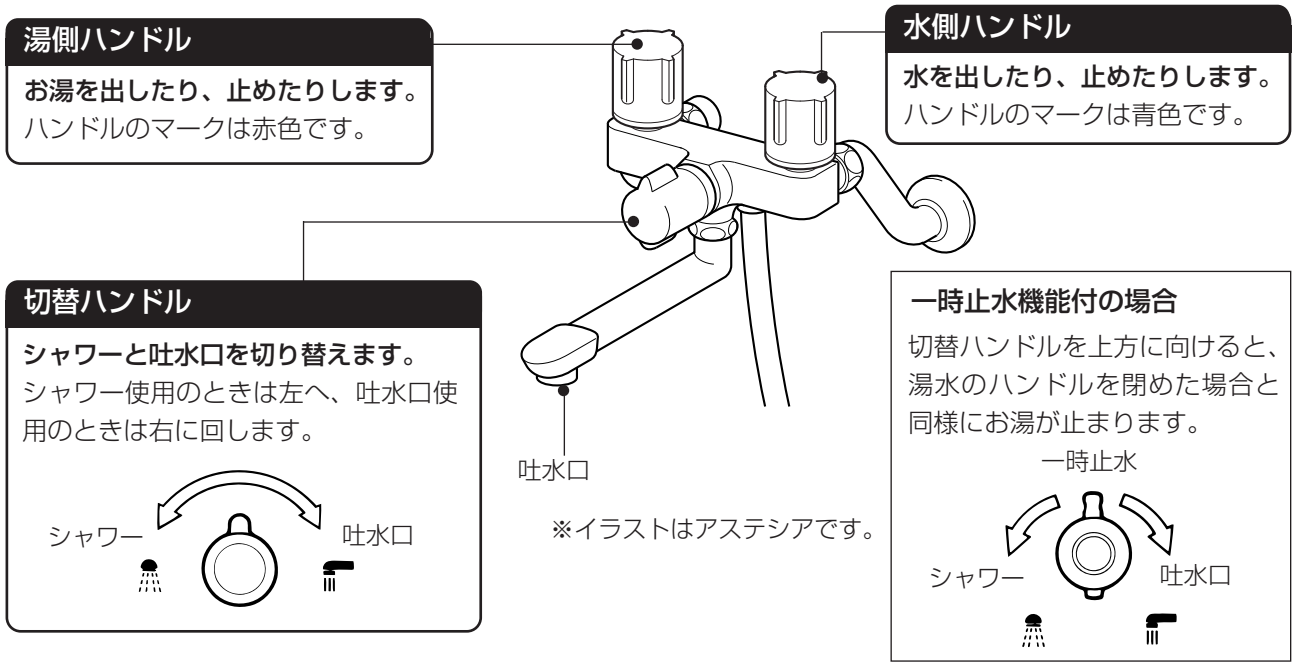


〈アステシア、ミーティスの場合〉



■壁付ツーハンドル水栓の場合（アステシア、ミーティス）

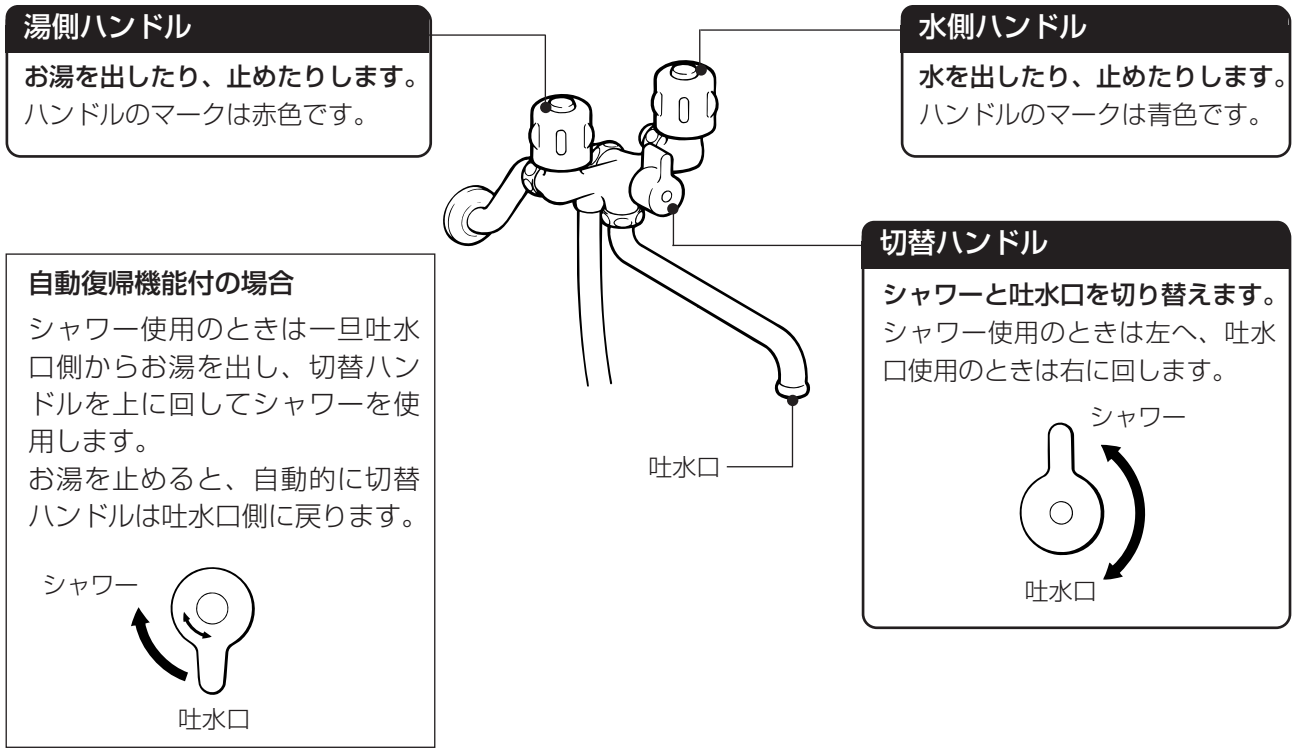
詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1062）をご覧ください。



※止める場合は、湯側ハンドルを先に回して止めてから水側ハンドルを回して止めてください。
※ご使用後は、切替ハンドルを吐水口側へ切り替えておいてください。

■壁付ツーハンドル水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-0083）をご覧ください。



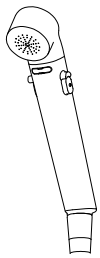
※止める場合は、湯側ハンドルを先に回して止めてから水側ハンドルを回して止めてください。

シャワーを使う

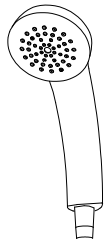
■シャワーの種類

お使いの器具をご確認ください。

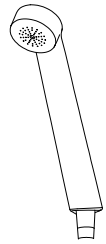
スイッチ付エコフル
シャワー〈メタル調〉
代表品番
BF-SC6WBH-PU



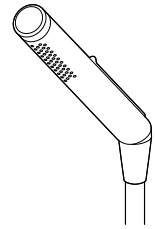
スイッチ付エコフル
シャワー〈ホワイト〉
代表品番
BF-SD6WBP-PU



エコフルシャワー
〈メタル調〉
代表品番
BF-SC6BH-PU



エコフルシャワー
〈ホワイト〉
代表品番
BF-SD6BP-PU



スプレーシャワー
（ストレートタイプ）
〈メタル調〉
代表品番
BF-SA6BH-PU

スイッチシャワー
〈メタル調〉
代表品番
BF-6LWBH-PU

スプレーシャワー
〈メタル調〉
代表品番
BF-6LBH-PU

スイッチシャワー

代表品番
BF-8WBP-PU3

スプレーシャワー

代表品番
BF-6CBP-PU

スプレーシャワー

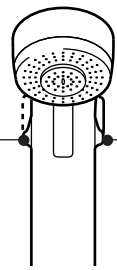
代表品番
BF-6JBP-PU1

ONE POINT ワンポイント

止水後もシャワーヘッドからポタポタと数秒間水が垂れる場合がありますが、
これはシャワーヘッド内の残留水によるもので、止水不良ではありません。
シャワーヘッドの水をよく切ってからシャワーフックに戻します。

■スイッチシャワーの場合

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。



一時止水スイッチ

シャワーの吐出を一時的に止めます。

吐出スイッチ

シャワーの吐出を再開します。

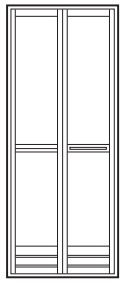
スプレーシャワーからスイッチ付シャワー、スイッチ付シャワーからスプレーシャワーへ交換する場合は、シャワーホースやシャワーエルボも一緒に交換になります。
（水栓本体も交換しなければならない場合があります。）
※LIXIL修理受付センターにご依頼いただければ、交換にお伺いします。（有料）（P.59参照）

ご使用方法/ドアを開閉する

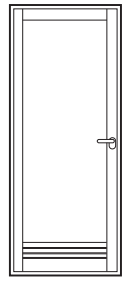
ドアを施錠・解錠する

■ ドアの種類

お使いのドアをご確認ください。



折り戸
VDY-□□（□）



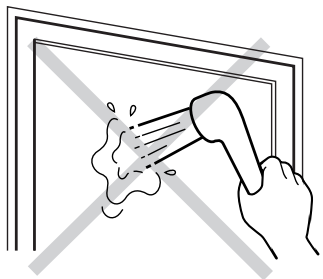
開き戸U型
UDY-□□（□）

浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能かどうか、確認してください。もし、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。

小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外もドアを必ず閉めておいてください。また、浴室外側からの施錠をお勧めします。

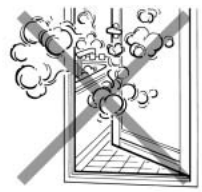
⚠ 注意

ドアや戸袋に直接水をかけないでください。
※ 浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。



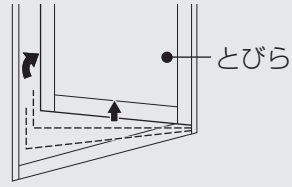
浴槽から勢いよくお湯をあふれさせないでください。
※ 浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※ 浴室外に湿気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ ドアが閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアの合わせ目に散水すると外へ漏れることがあります。また湿気や光につきましても**完全に遮へいする構造ではありません。**



ONE POINT ワンポイント

折り戸、開き戸はドアの開閉操作により、開けるととびらがせりあがり、閉じるとせり下がる構造を採用しています。
開き戸は開けたままにすると、とびらの自重でとびらがせり下がり、ドアが閉まる場合があります。



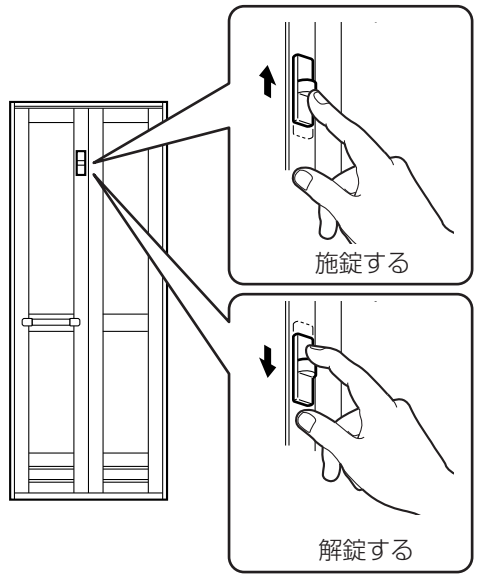
■折り戸の場合

● ロックの使い方

浴室内側から

とびら上側にあるロックツマミを上げてドアを施錠します。

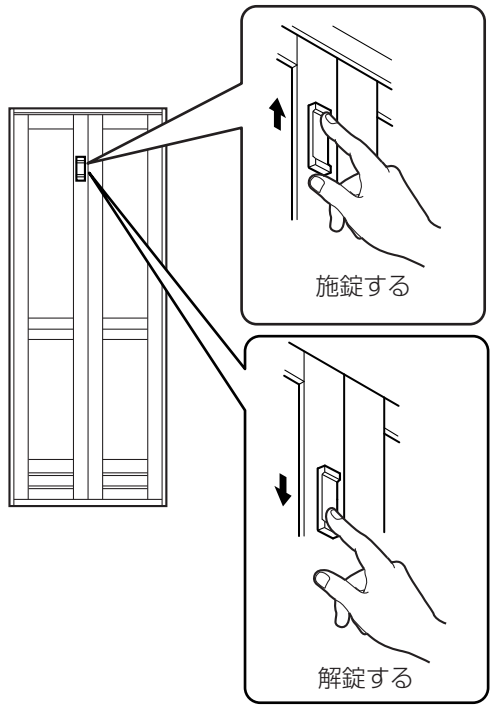
ロックツマミを下げてドアを解錠します。



浴室外側から

とびら上側にあるロックツマミを上げてドアを施錠します。

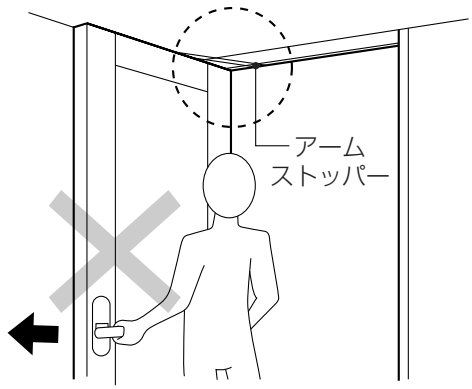
ロックツマミを下げてドアを解錠します。



■開き戸U型（レバーハンドル）の場合

お願い

とびらをいっぱいまで開いた状態でもたれかかったり、無理な力を加えないでください。
※ アームストッパーが**破損したり外れる恐れ**があります。



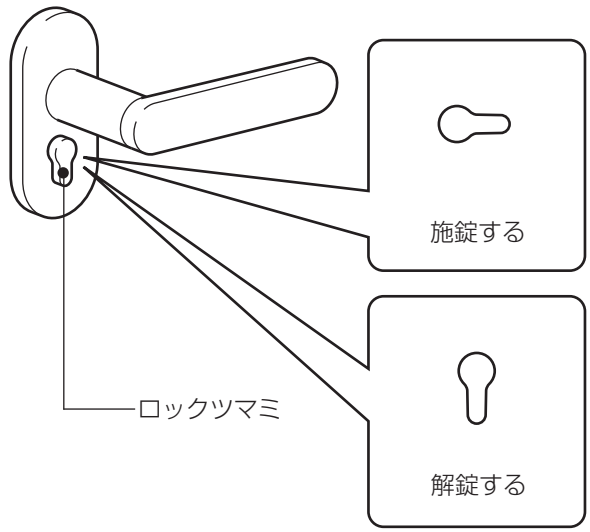
● ロックの使い方

浴室内側から

ロックツマミを横向きにしてドアを施錠します。

ロックツマミを下向きにしてドアを解錠します。

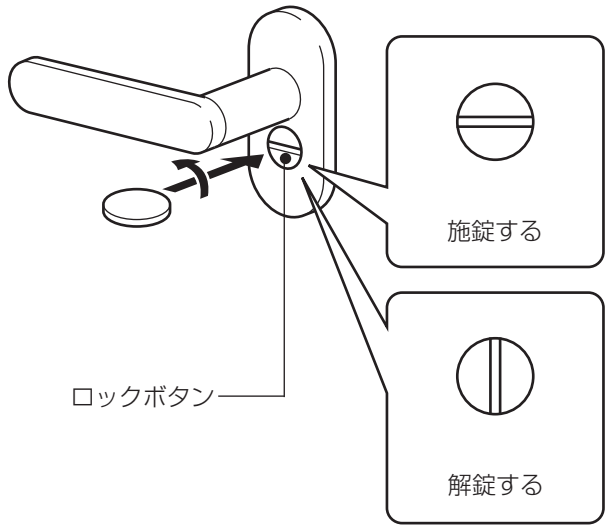
※ 浴室から出てドアを閉めるとき、サムターンを横向きにしたままドアを閉めると施錠されます。



浴室外側から

ロックボタンにコイン等を差し込み、横向きに回してドアを施錠します。

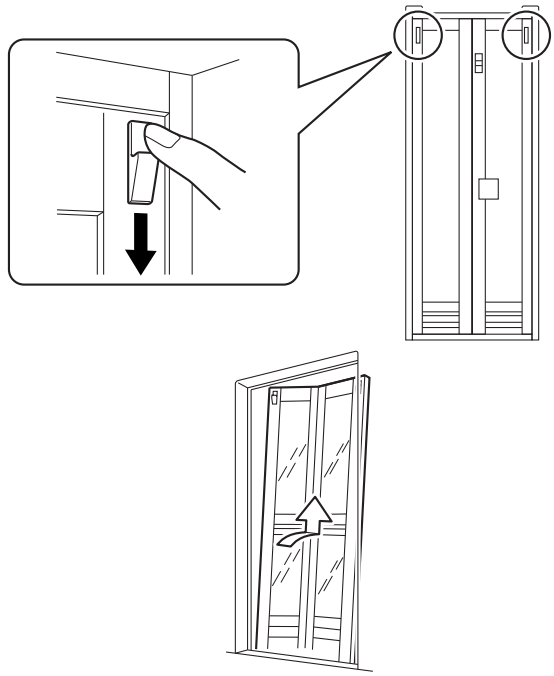
縦向きに回してドアを解錠します。



非常時にとびらを取り外す

ドアが開かなくなったとき、浴室外側からとびらを取り外すことができます。

■折り戸の場合



● とびらを取り外す

❶ 浴室外側からとびらの取っ手を押さえて、とびら上部の着脱ツマミ（2か所）を片方ずつ下げます。
浴室内側へ傾けながら上戸車をレールから外します。
※ 着脱ツマミを2か所同時に下げると、とびらが倒れて危険です。

❷ とびらを折りたたみ、上方へ持ち上げて下戸車をレールから外します。

● とびらを取り付ける

❶ とびらを折りたたんで浴室内に運び、図のように戸車の向きを合わせます。（4か所）

❷ とびらを浴室内側に傾けて、下戸車をレールに取り付けます（A）。

❸ 折りたたんだとびらをひろげてとびら上部の着脱ツマミ（2か所）を下げ、上戸車をレールに取り付けます（B）。

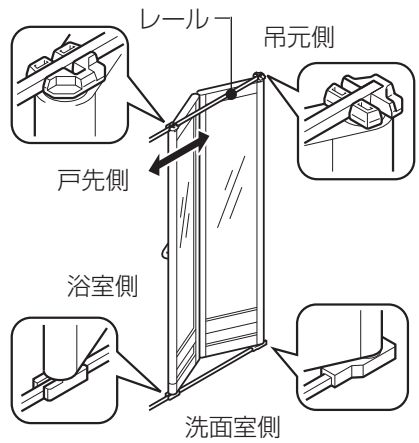
※ とびらは正しく取り付け、開閉することを確認してください。

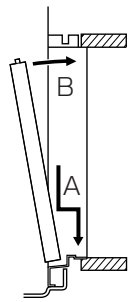
※ 上戸車はとびらを折りたたんだ状態では取付けできません。

※ 吊元側の戸車は、レール端の切欠部に引っ掛けて固定します。

※ とびらを外したときは、落とさないように注意してください。

※ とびらや戸車のゴミは取り除いてください。

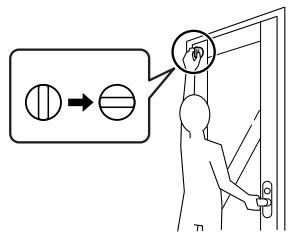




■開き戸（U型）の場合

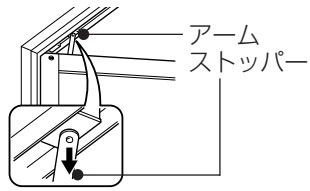
● とびらを取り外す

❶ とびらのロックを解除します。
浴室外側からとびら上部のロックを横向きにします。



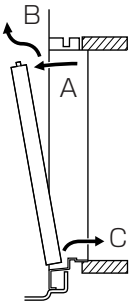
❷ レバーハンドルを回して、とびらを浴室内側に少し開きます。
とびらが外れるまで離さないでください。

❸ アームストッパーを外します。
とびら上部のアームストッパーを下へ引っ張り外します。



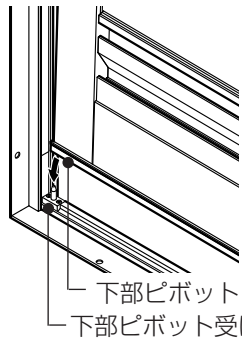
❹ とびらの上部を浴室内側に傾けて（A）上方へ持ち上げます（B）。

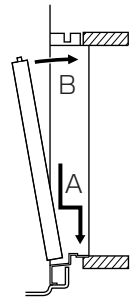
とびらを少し斜めにしながら、浴室外側へ取り出します（C）。



● とびらを取り付ける

❶ とびらを浴室内側に運び、少し傾けながらとびらの下部ピボットを下部ピボット受けに差し込みます（A）。
とびら上部をはめこみます（B）。



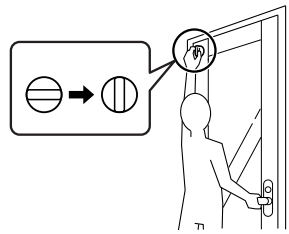


❷ 取外し方❸と逆の手順でアームストッパーを元に戻します。

❸ とびらの上部のロックを固定します。

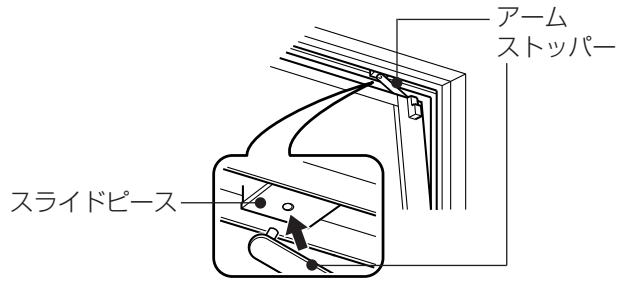
※ 下枠溝ととびら下部のゴミは取り除いてください。

※ 取付後は、アームストッパーが正しくはめ込まれていること、着脱ツマミが元の位置に戻っていることを確認してください。



● アームストッパーを取り付ける

とびらを半開きにした状態で、アームストッパーの突起部をスライドピースに入れます。



器具を使う

■器具の種類

お使いの器具をご確認ください。

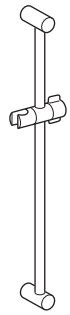
組フタフック
FK-1/N86

巻フタフック
R122-K

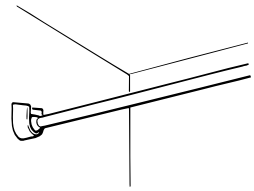
握りバー
890□-BTYPE-L□□□/□□
3207-BTYPE-L500-K

スライドフック付握りバー
890□-BTYPE-L□□/□□+R291/□□

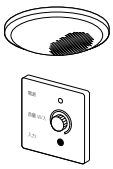
スライドフック付握りバー
CKNB(7)-B-L□□□□/□□



スライドバー
BF-27B（□□□）-PU□
BF-FB27（□□□）-PU□



ランドリーパイプ
LAP-□□-T



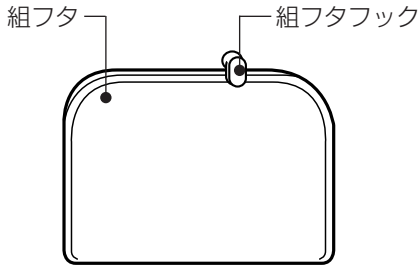
サウンドシステム
BAB-2BM

⚠ 注意

- 高い位置の収納部にガラス容器等割れやすい物は、収納しないでください。
  ※ 誤って落下させますと、割れて**ケガをする恐れ**があります。
- タオル掛やシャワーフック、ランドリーパイプ、天井照明カバー、S字フック、収納棚等の内装品にぶらさがったり無理な力を加えないでください。
  ※ **破損や漏水の原因**となります
  ※ 収納棚等が外れて**ケガの原因**となります。
- 収納部・カウンターに無理な力を加えないでください。
  ※ 破損して**ケガをする恐れ**があります。
- 収納棚にポンプタイプのシャンプー等を収納したまま、使わないでください。
  ※ 収納棚が割れて**ケガをする恐れ**があります。

風呂フタを収納する

■組フタフックの使い方



⚠ 注意

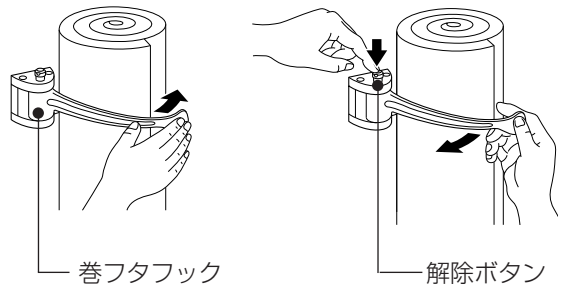
組フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※ **破損したり、ケガをする恐れ**があります。

組フタをスライドさせて収納します。

※ 組フタフックの形状が異なる場合があります。

■巻フタフックの使い方

保持するとき　　解除するとき



お願い

フック先端を急に回転させたり、無理な力をかけないでください。
※ **破損の原因**となります。

解除ボタンを押しながらフック先端を回転させ、巻フタフックを解除します。

※ 事故防止のためフックを使用しない時はフック先端を壁に寄せてください。

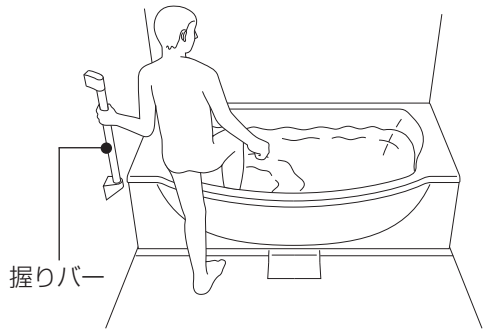
握りバーを使う

浴槽へ入る場合、浴槽から出る場合とも同様です。

❶ 握りバーをつかみます。

❷ 握りバーをつかんだ手と反対の足から入ります(出ます)。イラストのように左手で握りバーをつかんだら、右足を先に出します。
※ 浴槽にステップがついている場合は、一度ステップに乗ってから入ってください。

❸ 両足が浴槽底面（または、床）につき、体が安定してから握りバーを離します。



スライドバー・スライドフックを使う

■スライドフック付握りバーの使い方

⚠ 注意

スライドフックを鏡や壁にぶつけたりしないでください。
※ スライドフックや壁がキズついたり、鏡が割れて**ケガをする恐れ**があります。

スライドバーを手すり替りに使用しないでください。
※ **ケガをしたり、破損する恐れ**があります。

お願い

・シャワーフックの高さを調節する場合は、シャワーヘッドを外して高さ調節してください。
※ シャワーヘッドを外さないとシャワーフックがスムーズに動かない場合があり、シャワーヘッドが落下する恐れがあります。
・握りバーにシャンプー・リンス等が付いた場合は、スポンジ等を使って水で洗い流してください。
※ シャンプー・リンス等が付いたままにすると、シャワーヘッドを掛けた際にシャワーフックがずれる場合があります。
・シャワーの吐水量を調節してご使用ください。
※ シャワーの吐水量が多すぎると、シャワーの勢いで向きが変わったり、シャワーヘッドが外れて落下する恐れがあります。
・昇降ハンドルは矢印A、Bの方向に強く回しすぎないでください。
※ 昇降ハンドルが**破損する恐れ**があります。

● スライドフック付握りバー（CKNB(7)-B-L □□□□ / □□）の場合

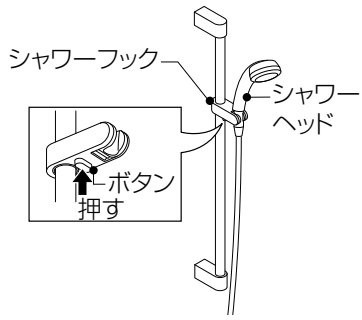
・シャワーフックの調節をする場合は、必ずボタンを押す、またはハンドルを回して操作してください。
※ シャワーフックのボタンを押して操作しないと、シャワーフックがスムーズに動かない場合があります。

高さを調節する

❶ ボタンを押しながら、シャワーフックをお好みの位置に合わせます。
❷ ボタンを離すとシャワーフックが固定されます。

散水方向を調節する

・ 角度調整の場合
シャワーヘッドをシャワーフックに掛け、シャワーヘッドを前後に動かし、散水方向を調節します。
・ 左右調整の場合
ボタンを押しながら、シャワーフックを左右に動かして、お好みの位置に合わせます。



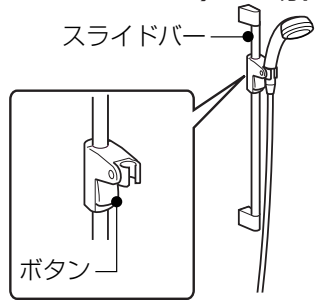
● スライドフック付握りバー（890□-BTYPE-L□□/□□+R291/□□）の場合

高さを調節する

❶ ボタンを押しながら、シャワーフックをお好みの位置に合わせます。
❷ ボタンを離すとシャワーフックが固定されます。

散水方向を調節する

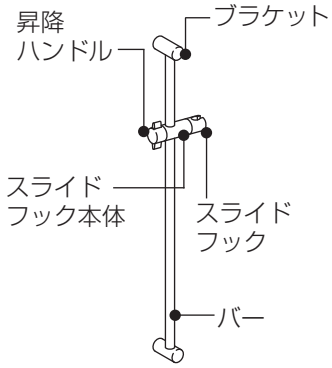
シャワーヘッドをシャワーフックに掛け、シャワーヘッドを前後に動かし、散水方向を調節します。

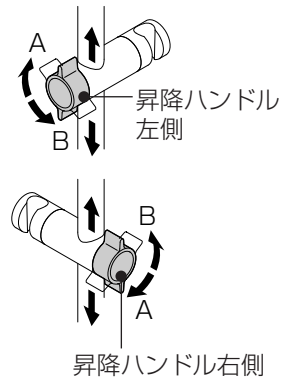


● スライドバーの場合

高さを調節する

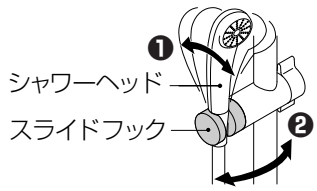
❶ 昇降ハンドルを、イラストの矢印Aの方向に回します。
スライドフック本体をお好みの位置に合わせます。
❷ 昇降ハンドルをイラストの矢印Bの方向に回します。
スライドフック本体を固定します。





散水方向を調節する

❶ シャワーヘッドをスライドフックに掛けます。
シャワーヘッドを前後に動かし、散水方向を調節します。
❷ ハンドルをゆるめ、スライドフックの向きを回転させて、散水方向を調節します。



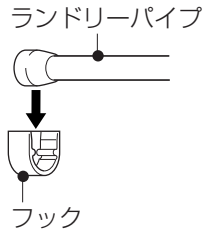
ランドリーパイプを使う

⚠ 注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、強く引っ張らないでください。
※ **ケガの恐れ**があります。
※ 洗濯物の安全荷重の目安は10キログラムです。

■ランドリーパイプの取付け方

ランドリーパイプを、浴室の壁にあるフックに確実にはめ込んでください。



換気扇・暖房機を使う

※ 当社以外の換気扇、暖房機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

⚠ 警告

運転中に機器から異常な振動や音、異臭を感じたら、使用を中止し分電盤のブレーカーを切り、LIXIL修理受付センターまたは、各暖房機の製造メーカーへ修理を依頼してください。
※ 異常のまま運転を続けると**火災や感電の恐れ**があります。

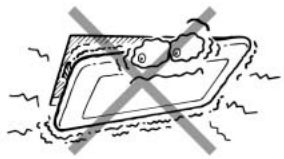
ガス漏れに気づいた時は、換気扇・暖房機のスイッチを入・切しないでください。
※ **爆発や引火の原因**となります。

⚠ 注意

本体がしっかりと取り付いているか確認してください。
※ 落下により**ケガをする恐れ**があります。

長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
※ **絶縁劣化による感電や漏電火災の恐れ**があります。

フロントカバーやフィルターは確実に取り付けてください。
※ **落下によりケガをする恐れ**があります。



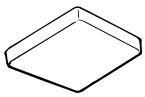
換気扇・暖房機運転中はフロントカバーを外して羽根やヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※ **感電やケガ、故障の恐れ**があります。

お願い

- 換気扇や暖房機の吸込口をタオル等でふさがないでください。
  ※**故障の原因**となります。
- 換気機能を使用する時は、窓やドアを開けないでください。
  ※十分な換気ができません。
- 洗面室ドアにガラリまたは給気口があるかご確認ください。
  効果的な換気を行うために必要です。
- 入浴後は窓を開けたり、換気扇や暖房機の換気機能を使用する等、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
  ※浴室にこもった湿気は、**悪臭やカビの発生原因**になります。
- 常時換気機能付以外の換気扇は、換気終了後にスイッチを切ってください。
  ※長時間の連続使用は故障の原因となります。

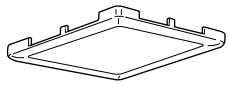
■換気扇・暖房機の種類

お使いの器具をご確認ください。
（　）内は換気扇・暖房機の取扱説明書品番を示します。

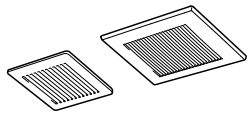


天井換気扇
UF-23A
（GPU-0047）
UF-27A
（GPU-0350）

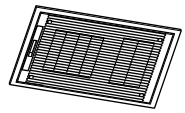
〈常時換気機能付〉
UF-28A
（GPU-0350）



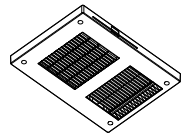
常時換気機能付
天井換気扇
UF-26A
（GPU-0135）



2室天井換気扇
FY-24CPS71N
（GPU-0260）



常時換気機能付
電気式換気乾燥暖房機
UFD-16A
(GPU-0265)
UFD-16PA
(GPU-0266)



常時換気機能付
電気式換気乾燥暖房機
UFD-110A
(GPU-0344)
UFD-110PA
(GPU-0345)

■換気扇を使う

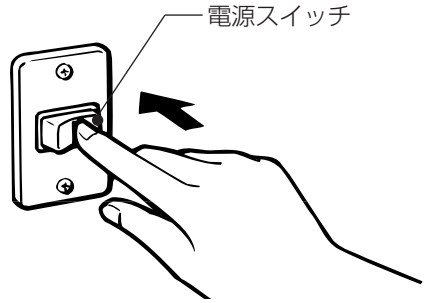
換気扇のスイッチは付属品ではありません。（建築側で用意）
下記とは異なる場合があります。

ONE POINT ワンポイント

入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等して浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。

● 入浴中

換気運転を停止することをお勧めします。
※入浴中に換気運転をすると、フロントカバーから結露した水が落下することがあります。
また、ドアの通気部分からの冷たい空気により肌寒く感じることがあります。



● 入浴後

浴室内に水残りがある場合は、タオル等でふきとってください。
浴槽に湯水がある場合は、湯水を抜くかフタをしてください。

カビを生えにくくするため、入浴後は換気運転することをお勧めします。
※換気扇を運転する場合は、窓やドアを閉めてください。

ONE POINT ワンポイント

●冬場や湿気が多いとき等に、フロントカバーから結露した水が落下することがありますが、異常ではありません。また、入浴剤等をご使用の場合は、色のついた結露水になる場合があります。
●頻繁に水滴が落ちてきたり、色がついた水滴が落ちてくる場合は、フロントカバーに水が溜まっている可能性があります。「換気扇・暖房機のお手入れ」を参考にフロントカバーのお手入れをしてください。

● 常時換気機能付換気扇の場合（UF-26A、UF-28A）

三菱電機（株）製スイッチ（P-04SWL5）の場合

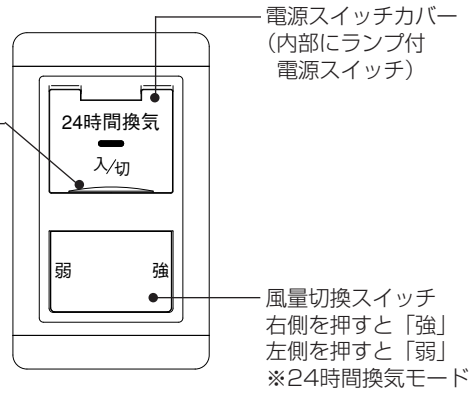
・ 風量を「強」・「弱」に切り換えられます。
・「弱」で24時間運転をすることをお勧めします。

❶ 電源スイッチカバーの取っ手部に指を掛けて上側にあけます。

❷ 電源スイッチ操作

① 右側を押すと「入」ランプが点灯します。

② 左側を押すと「切」ランプが消灯します。



ONE POINT ワンポイント

常時（24時間）換気機能付の場合は、入浴後「強」運転を行い、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してから常時換気運転を行ってください。なお、常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

■換気乾燥暖房機の使い方

詳しくは各換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

● 入浴前

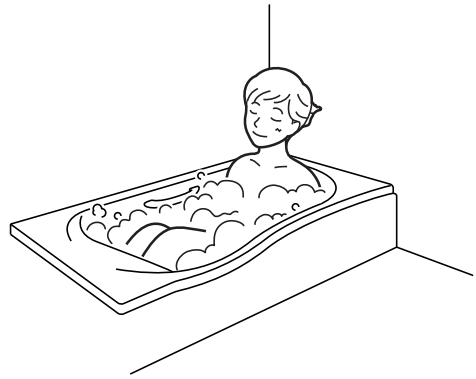
暖房

冬場等、浴室が寒いときには、入浴の30～60分前から、「暖房」もしくは「暖房（入浴前）」運転を行うと浴室全体が暖かくなります。
※浴室のサイズ、季節、窓の有無等によって暖房効果は異なります。

● 入浴中

換気

換気運転を停止することをお勧めします。
※入浴中に換気運転をすると、暖房機本体から結露した水が落下することがあります。また、ドアの通気部分からの冷たい空気により肌寒く感じることがあります。



暖房

「暖房（入浴中）」を運転することをお勧めします。
※ 温風が直接身体にあたると肌寒く感じることがあります。
※「暖房（入浴中）」がない機種もあります。

ONE POINT ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

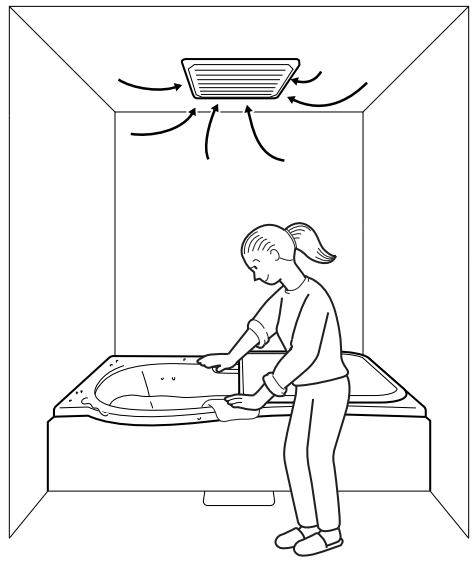
● 入浴後

浴室内に水残りがある場合はタオル等で軽くふきとってください。

浴槽に湯水がある場合は、湯水を抜くかフタをしてください。

カビを生えにくくするため、入浴後は「換気」もしくは「乾燥」運転することをお勧めします。

通常の「換気」「乾燥」のほかに、「ブロー換気」、「クリーン換気」、「クリーン乾燥」機能を備えた機種もあります。この場合は、「ブロー換気」、「クリーン換気」、「クリーン乾燥」運転することをお勧めします。



ONE POINT ワンポイント

- 冬場や湿気が多いとき等に、暖房機本体から結露した水が落下することがありますが、異常ではありません。
- 頻繁に水滴が落ちてきたり、色がついた水滴が落ちてくる場合は、換気乾燥暖房機内部に水が溜まっている可能性があります。2時間以上「乾燥」運転を行い、内部を乾燥させてください。
  また、入浴後には「換気」または、「乾燥」運転を行ってください。

● 衣類乾燥について

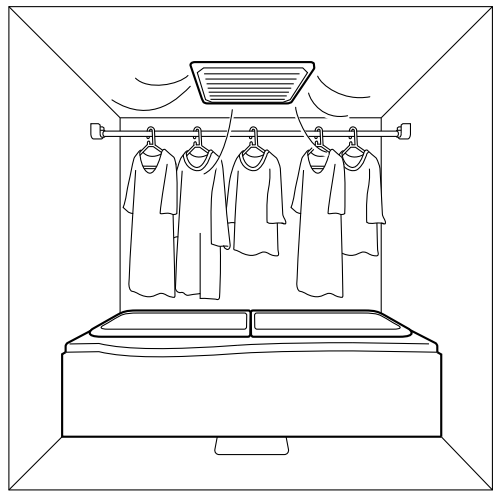
浴槽に湯水が入っている場合は、風呂フタをして浴室の水分をよくふきとります。

洗濯物は十分脱水してください。

乾きにくい洗濯物は温風吹出口の近くに吊るしてください。

洗濯物の間を温風が通り抜けるように間隔をあけてください。

※ 乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により、乾燥時間が長くなる場合があります。



照明について

⚠ 警告

ランプの交換以外の照明器具の分解や照明器具の改造は絶対に行わないでください。
※ **感電や火災、ショート、故障の恐れ**があります。

照明カバーやグローブを外したり、割れ・変形したままで使わないでください。
※ **火災や感電、ランプが割れてケガをする恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

- ●周囲温度により、明るさが低下したり寿命が短くなる場合があります。
- ●電球形蛍光ランプは点灯するまでに数秒かかったり、点灯後明るくなるまでに少し時間がかかります。
  ※故障ではありません。
- ●LED照明は以下についてご承知おきください。
  ※LEDにはバラつきがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。
  ※LEDは点灯後、明るさが若干変化します。
  ※LEDランプは、光の広がりが蛍光ランプと異なるため、グローブに光ムラが出る場合があります。

サウンドシステムを使う

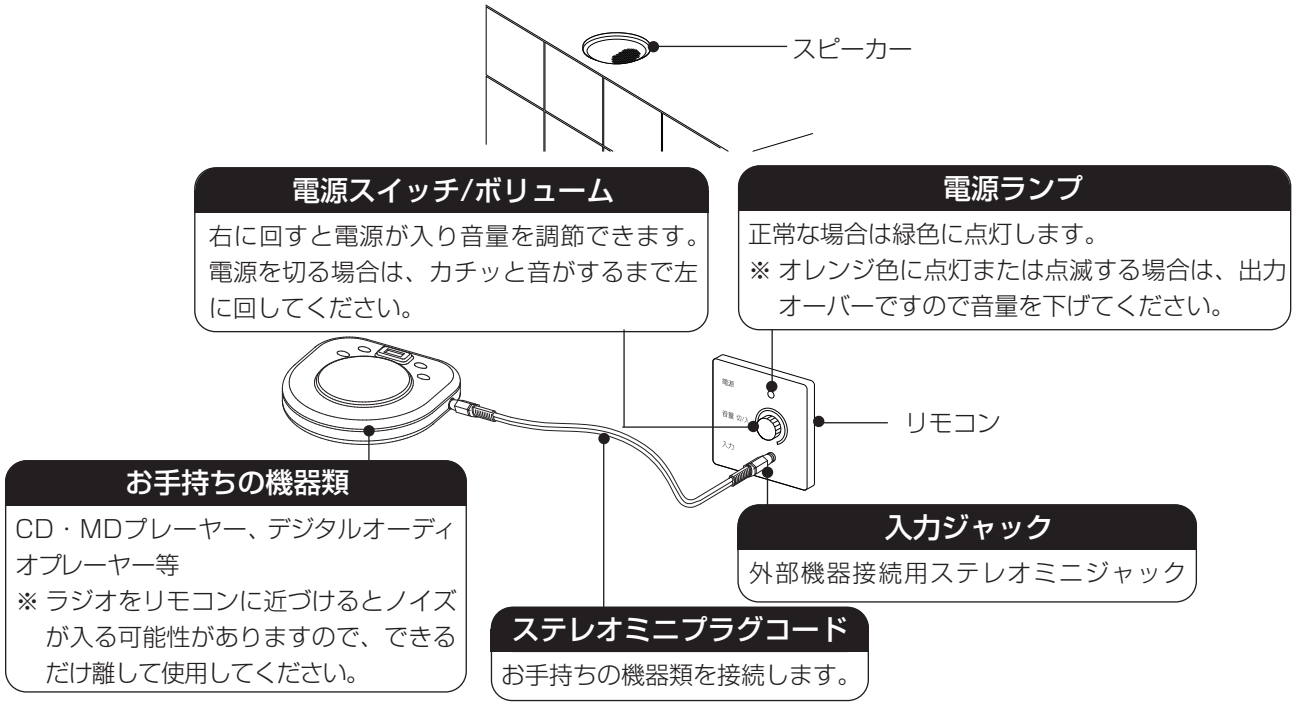
お願い

隣室、階上等周囲に迷惑がかからないように、大音量でのご使用はお控えください。

（浴室テレビに接続している場合）
サウンドシステム使用時にテレビのスイッチを入れると、テレビ音声が予期せぬ大音量で流れる恐れがあります。
サウンドシステムをOFFとしてからテレビのスイッチを入れ、徐々にボリュームを上げるようにしてください。

■サウンドシステムの使い方

詳しくはサウンドシステムの取扱説明書（GPU-0199）をご覧ください。



入浴しながらお好きな音楽をお楽しみいただけます。
お手持ちのCD・MDプレーヤー、デジタルオーディオプレーヤー等、お好みの音源を接続するだけでご使用いただけます。

お手入れのコツ

■いつもキレイで快適なお風呂であるために

浴室は身体を清潔にするだけでなく、ホッとくつろいだり、家族でワイワイ入浴したり、心豊かなひとときが広がる素敵なスペースです。そんな浴室はいつもキレイであって欲しいもの。
ここでは、浴室をキレイに保つポイントをご紹介します。

毎日のお手入れについて
浴室のお手入れはガンコな汚れを作らないことが大切です。
そのためには、浴室最後に入浴された方がその日の汚れを落とします。
※汚れはまだ濡れている間に落とした方が、楽に落とせます。

❶ 少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。
※床から１mの高さまでは、特に汚れやすいので念入りに洗います。
※ドアには直接水をかけないでください。浴室外側へ水が漏れる恐れがあります。
❷ こびりついた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。
❸ 水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。
❹ 残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。
※換気扇は翌朝まで回すことをお勧めします。

■汚れの種類とお手入れの道具、目安について

汚れについて　　・・・P.29
汚れの種類はさまざまで、汚れによりお掃除方法も異なります。

用意するもの　　・・・P.30、31
お掃除に必要な洗剤や道具を用意します。

お手入れの目安　　・・・P.32
「毎日のお手入れ」で残ってしまう汚れや、商品の性能を維持するために、お手入れの目安を参考に「定期的なお手入れ」をします。

洗剤、道具を使うときの注意
●浴室を傷めるため、使ってはいけない洗剤、道具がありますのでご注意ください。
●どのようなタイプの洗剤、洗浄剤でも、浴槽や床、壁、カウンター等へ塗布後はすみやかに水で洗い流してください。
※洗剤成分が残っていると表面が変色したり、変質することがあります。
●中性洗剤以外を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等のないことを確認ください。

■もしカビが生えてしまったら

カビはふくだけで落ちる場合もありますが、これだけではカビは死滅しません。カビが生えてしまった場合は、カビ取り剤を使って元から落とします。
汚れたまま放置しますと付着したカビが材料内部へ入り込みふきとれなくなる場合があります。

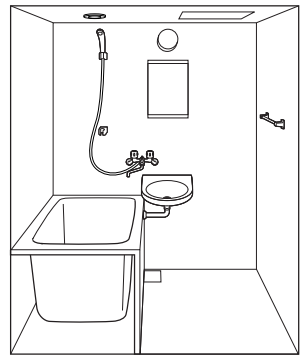
※カビ取り剤は強力な洗剤のため、以下の点に注意して正しくお使いください。
●注意書きをよく読みます。
●ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
●肩より高い場所には直接スプレーしないでください。（顔や衣服に付着する恐れがあります。）
●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。（変色や変質、金属のサビ、ゴム部品の劣化の恐れがあります。）

手順
❶ ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
❷ 浴室のドアを閉めて窓を開けるか、換気扇を回します。
❸ カビが生えている場所にカビ取り剤をスプレーします。
❹ しばらくおいて、水で洗い流します。

お手入れ方法/お手入れについて

汚れについて

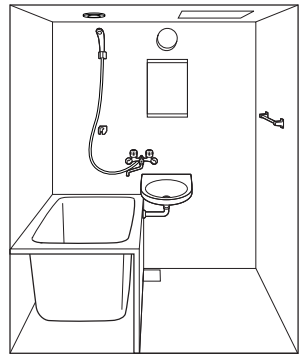
浴室の汚れは意外と多く、お手入れ方法もさまざまです。
汚れの色や発生する場所から汚れの正体を特定し、それぞれに適したお手入れをされると効果的です。

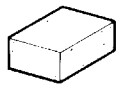
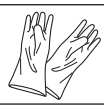
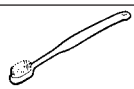


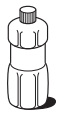
種類	色	発生しやすい場所	原因・特徴	お掃除方法
水アカ、湯アカ	白 褐色	鏡 水栓（金属部分） 浴槽（水面部）等	水道水に含まれるケイ酸が積み重なったもの。または、水道水に含まれるカルシウム等が酸素や二酸化酸素と結びついて炭酸カルシウムとなったもの。表面が白っぽくてざらつくのが特徴です。	軽い汚れは、水洗いで簡単に落とします。こびりついた汚れは、浴室用合成洗剤（中性）でこすり落とします。浴槽の水面付近についた汚れは、洗剤をかけて2～3分おいてからこすると、落ちやすくなります。
カルシウム石けん	白	床 ドア 鏡 浴槽まわり等	石けん分や身体の脂肪分が水道水に含まれるカルシウム等の金属成分と反応してできるもの。表面が白っぽくてざらつく硬い汚れが特徴です。	軽い汚れは、浴室用合成洗剤（中性）でこすり落とします。ガンコな汚れは、浴室用クリームクレンザーでこすり落とすか、歯ブラシと歯みがき粉でこすり落とします。（鏡には歯ブラシを使わないでください。）
金属（銅）石けん	青 薄紫	鏡 浴槽内側等	配管や配管に使われている銅管、給湯器内部からわずかに溶け出した銅イオンと、石けんやアカに含まれる脂肪酸が反応してできるもの。	銅イオンは新築当初の銅管の表面が新しいときに溶け出しやすいですが、通常は数ヶ月くらいでおさまります。なお、水質によっては長年にわたり出続ける場合もあります。こびりついた汚れは、浴室用クリームクレンザーで表面をキズつけないようにこすり落とします。
カビ	黒 紫 ピンク等	浴室全体	温度・水分・栄養源（石けんカスや湯アカ、人のアカ等）がそろう場所で発生する微生物の一種。	入浴後は汚れが残らないように隅々まで十分に洗い流し、換気を心がけましょう。発生してすぐの場合は、浴室用合成洗剤（中性）で落とします。落ちにくい場合は、市販のカビ取り剤で落とします。 ※ カビ取り剤を使用する際は、製品の注意表示をよくご覧ください。 ※ 詳細は、「もしカビが生えてしまったら」をお読みください。
サビ	赤茶	床 浴槽まわり等	金属の表面が酸素と化合した、または湿気や腐食性ガスに侵されて発生する化合物。	発生を防ぐには、金属表面の汚れを取り除き、水滴をふきとっておきます。ガンコな汚れは、浴室用合成洗剤（中性）や浴室用クリームクレンザーで落とし、からぶきをします。
もらいサビ			ぬれたヘアピンやカミソリ、スプレー缶等に発生したサビが付着したもの。または水道水に含まれる微量の鉄粉が付着したもの。	ガンコな汚れは、浴室用クリームクレンザーで表面をキズつけないようこすり落とします。
ヌメリ	―	排水口周辺等	排水口等水がたまる場所にできるぬるぬるしたもの。水分がある状態で細菌が付着し、汚れを栄養に細菌が繁殖した時に発生してできるもの。	浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてお掃除します。
ピンクヌメリ	ピンク	排水口周辺 床等	ピンク色のヌメリ汚れ。酵母が皮脂等を養分に発生してできるもの。	浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてお掃除します。

用意するもの

汚れに適した道具と洗剤を用意します。
お手入れは効果的にしましょう。



道具	
スポンジ  （高い場所用には、長い柄付のスポンジ）	手にあまるぐらいの大きなやわらかいスポンジがお勧めです。広い範囲を少ない動きでお掃除することができます。 メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。 ※ メラミンフォームとはメラミン樹脂製のスポンジのことです。使い方は、洗剤を使わず水を含ませて汚れをこすり落とします。使用していくうちに消しゴムのようにすりへっていきます。
やわらかい布 	ぞうきんはもちろん、着古したＴシャツや、使い古したタオル等でも。 ※こんな裏技：水切ワイパーや吸水性の高い洗車タオルなら浴室の水分を素早く取ることができます。
ゴム手袋 	折り返して使うと、水や洗剤が入りません。中に綿素材の手袋をしたうえにゴム手袋をすると、肌荒れ防止になります。
浴室用ブラシ 	床等の広範囲でのこすり洗いに。素材を傷めないためにも、先割れ加工のものがお勧めです。 ※先割れ加工とは、樹脂製の毛先を細く裂いた状態にすることです。
歯ブラシ 	使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。

洗剤	※カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
浴室用合成洗剤（中性） 	浴室用には、湯アカ、石けんカス等による汚れに強い成分が配合されています。洗剤が残ると変色やシミの原因となるので、使用後はよく洗い流してください。肌の弱い方には台所用もお勧めします。
浴室用クリームクレンザー 	こすりすぎると素材にキズがついたり、逆につやが出すぎたりすることがありますので、ご注意ください。また、常用はしないでください。
カビ取り剤 	スプレーしたあと、規定外の長時間放置したり、洗剤が残ると変色やサビ、ゴムの劣化の原因となるので、使用後はよく洗い流してください。
風呂釜用洗浄剤 	発泡する泡でパイプ内や風呂釜内部の汚れを落とします。

⚠ 警告

- カビ取り剤等の使用中、使用後は必ず十分に換気してください。
- カビ取り剤を使用の際は、目や服に飛沫がかからないようにご注意ください。
  ※ マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の着用をお勧めします。
- 塩素系の洗剤、洗浄剤と酸性タイプの洗剤、洗浄剤を混ぜて使用しないでください。（同時使用および前後の使用でも有害な塩素ガスが発生します）

⚠ 注意

- 洗剤ラベルに記載されている使用上の注意をよく読みお使いください。
- 洗浄剤は、使用されている給湯器に適したものを使用してください。

お願い

粉末クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダ等の薬品は使用しないでください。
※ **キズ、変色等の原因**になります。
カビ取り剤等の薬品を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで正しくお使いください。また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。

メラミンフォーム（P.30参照）は水栓金具の印字部分（温度表示や切替表示等）には使わないでください。
※ 温度表示等の**印字が消える恐れ**があります。

浴槽にお湯が張られていなくても、床でバケツや洗面器等の大量の水を流す場合は浴槽排水栓を閉めてください。
※ 床の排水が浴槽へ**逆流する恐れ**があります。

どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、浴槽や床・壁・カウンターには塗布後長時間放置しないでください。洗剤分を残さないように十分水で洗い流してください。
※洗剤分が残っていると、材質が**変色したり変質する恐れ**があります。

カビ取り剤を使った後、長時間放置したり洗剤が残ると表面が変色することがあります。
また、水栓金具やドア枠等にサビが生じたり、排水栓のゴム部が劣化することがあります。カビ取り剤使用後は、洗剤が残らないようによく洗い流してください。

浴室用合成洗剤（中性）以外を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等ないか確認してください。

オレンジオイル配合の洗剤は使わないでください。
※ **樹脂部品を傷める恐れ**があります。

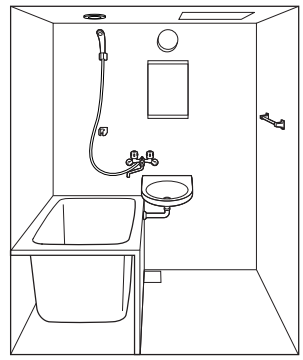
使わないで	
硬いスポンジ 金属タワシ、ナイロンタワシ	表面にキズをつけ、傷めてしまう原因になります。
浴室用クリームクレンザーとカビ取り剤を除く「酸性」「アルカリ性」表示のある洗剤、洗浄剤	表面が変色したり、シミになる原因になります。
粉末クレンザー、磨き粉等研摩力の強いもの	表面にキズをつけ、傷めてしまう原因になります。
シンナー・アセトン等の溶剤 ・塩酸等の薬品類および上記を含む洗剤・洗浄剤	表面が変色したり、シミになる原因になります。

お勧めの洗剤	
スーパークリーナー万能Jr.くん	中性植物性の洗剤です。 ホームセンター等で購入できます。
クリームクレンザージフ　バスクリーナー	粒子の細かい研磨剤入りコンパウンドです。 ホームセンター等で購入できます。

お手入れの際の浴室用合成洗剤は泡切れのよいもの（例えば花王（株）社製：バスマジックリン）を使用いただきますと、シャワーで洗い流す回数が少なく、経済的です。

お手入れの目安

入浴のたびに汚れる部位や、日々汚れがたまっていく部位等、浴室のお手入れはさまざま。
汚れの具合や頻度によって、計画的にお手入れされることをお勧めします。



部位	日常	週に１回	月に１回	半年に１回または 汚れが目立ってきたら	参照ページ
浴槽	最後に入浴された方が ①シャワー等でその日の汚れ（石けんカスや皮脂、アカ等）を洗い流します。 ※浴槽や風呂フタはスポンジでかるくこすり洗いをします。 ②その後、水のシャワーをかけて温度を常温程度に下げます。 ③乾いた布等で残っている水をふきとります。 ④窓を開けるか換気扇を回します。			浴室内の金属石けんを浴室用クリームクレンザーでこすり落とします。	33
風呂フタ		細部の汚れは歯ブラシで落とします。		スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすります。	33
浴槽排水口		たまったゴミや毛髪を取り除きます。			34
壁		スポンジでなで洗いします。		カビをカビ取り剤で落とします。	35
床		床まわりのコーキング材を浴室用合成洗剤（中性）で洗います。	目地の汚れを浴室用合成洗剤（中性）とブラシでこすり落とします。	カビをカビ取り剤で落とします。	36～37
床排水トラップ		ヘアキャッチャーについたゴミや毛髪を取り除きます。	封水筒、通水パイプを取り外して汚れを洗い流します。		38
天井			長い柄のついたスポンジで軽くこすります。		37
浴槽下				エプロンを取り外してお掃除します。	39
鏡		スポンジでなで洗いします。		スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすります。	40
握りバー スライドバー タオル掛		乾いたやわらかい布で汚れをふきとります。		浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。	41
収納部		浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。		収納棚を外し、浴室用合成洗剤（中性）で洗います。	41～42
水栓		スポンジでなで洗いします。	付着している石けんカスや水アカを浴室用合成洗剤（中性）で落とします。	ストレーナー、整流口の汚れを落とします。	43～48
ドア	しめらせた布で汚れをふきとります。			ドアやドア下、ドアのまわりのパッキン等の汚れには、歯ブラシで落とします。	49
照明				浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。	50～52
換気扇			フロントカバー・本体をお掃除します。	フロントカバーやフィルター、リモコン等を薄めた浴室用合成洗剤（中性）でお掃除します。	53～55

浴槽のお手入れ

⚠ 注意

浴槽底面にたまった細かな砂、金属等はよく洗い流してください。放置すると表面をキズつけたり、変色、サビの発生の原因となります。

日常

浴槽に熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。浴槽にこびりついた汚れはやわらかいスポンジでこすり落とします。その後水のシャワーで温度を下げ、最後に水をふきとります。

※ 汚れが落ちにくい場合は、浴室用合成剤（中性）をスポンジにつけてこすり洗いをします。

汚れが目立ってきたら

浴槽内やふちにこびりついた緑青の汚れは「金属石けん」、白い汚れは「カルシウム石けん」と呼ばれるがんこな汚れです。
スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすり落とした後、水で洗い流してください。

※ 強くこすらず、4～5回磨いては水をかけ、これを繰り返して落とします。

風呂フタのお手入れ

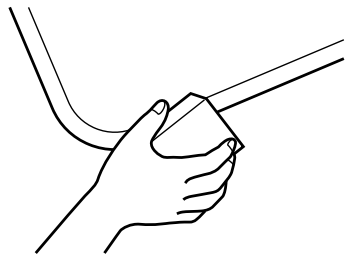
日常

飛び散った水アカや石けんカスにシャワーをかけて洗い流します。その後軽くからぶきをしておくとより美しく保てます。

※ 汚れが落ちにくい場合は、浴室用合成剤（中性）をスポンジにつけてこすり洗いをします。

週に１回

組フタの細かい凹凸、縁の部分等汚れやすい部分は歯ブラシ等も使って念入りに洗ってください。シャワーで洗い流した後は、月に一回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。



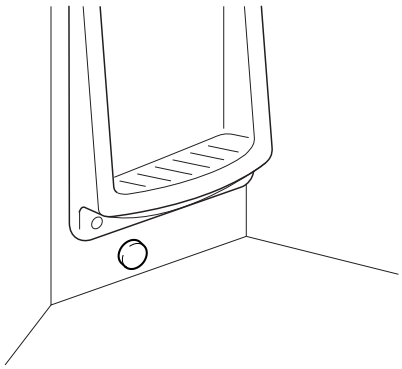
汚れが目立ってきたら

スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすってください。

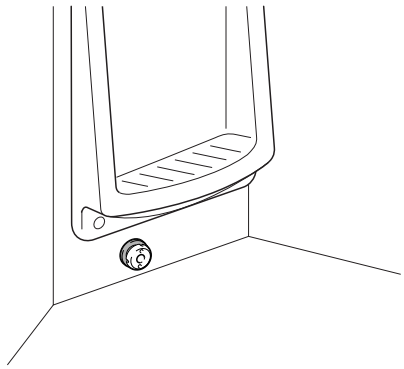
追いだき排水アダプターのお手入れ（BH、BLHシリーズの場合）

月に一回

点検口下にある追いだき排水アダプターのキャップを取り外し、ゴミ等を取り除いてください。
※シャワーで水を流し込まないでください。**水が逆流し、漏水する恐れ**があります。
　また、お掃除の時以外は必ずキャップをはめてご使用ください。



＜キャップがはまっている時＞



＜キャップが外れている時＞

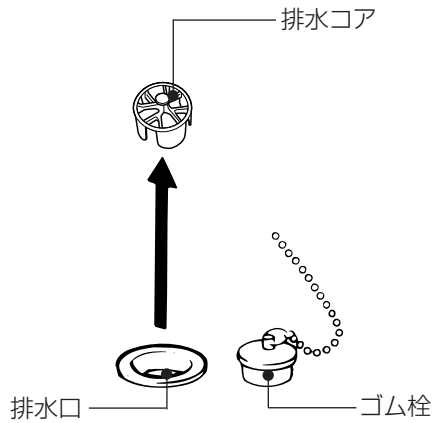
浴槽排水口のお手入れ（BH、BLHシリーズの場合）

■ゴム栓の場合

週に１回

❶ 排水コアのツマミをつまんで取り出しゴミを取り除いてください。

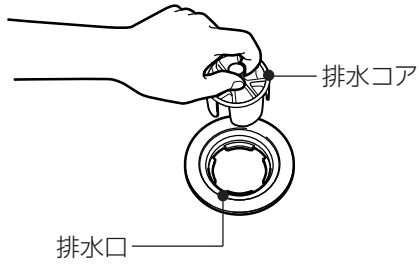
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



❷ 排水コアを排水口に取り付けます。

※ 斜めに浮いた状態にならないよう排水口底面にきちんと押し当ててください。
押込みが不十分な場合は浴槽の湯張りができなくなります。

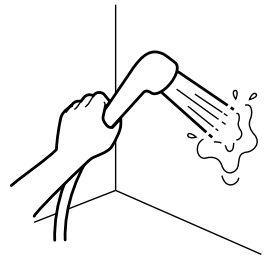
※ 排水コアを外したまま使用しないでください。排水管の詰まりや悪臭の原因となります。



壁のお手入れ

日常

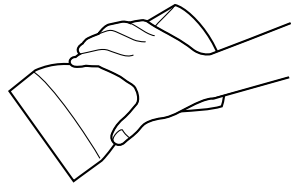
❶ 飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡にシャワーをかけて洗い流します。
※ このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



❷ 換気扇を回すか、窓を開けます。

週に1回

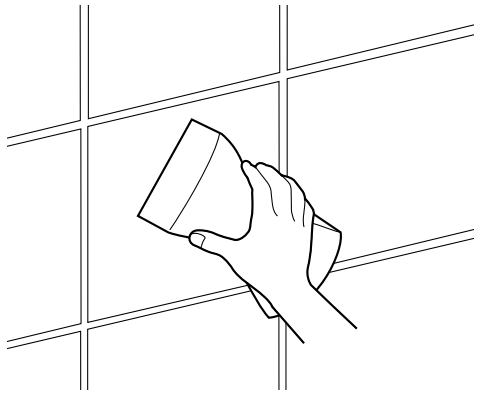
浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



■タイル目地の場合

週に1回

浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



汚れが目立ってきたら

目地にカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤をお使いください。

※ カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

※ カビ取り剤等は肩より高い場所に直接スプレーしないでください。顔や衣服にカビ取り剤が付着することがあります。

床のお手入れ

お願い

・はじめてご使用になる場合は、床にホコリ等が付着していることがありますので、浴室用合成洗剤（中性）でお掃除されることをお勧めします。

・イージードライフロアは水はけがよくなっていますが、一部に水滴が残り乾燥に時間がかかることがあります。また、使っている間にリンスの固着等により床の水はけ性能が低下する場合があります。
※床に残った大きな水滴はお掃除用のスポンジやブラシ等で取り除いておくと乾燥に時間がかかりません。
※月に1回程度、浴室用合成洗剤（中性）で床をお掃除してください。

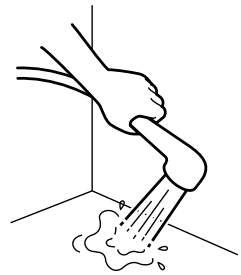
・カビ取り剤使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。
※カビ取り剤が付いたまま長時間放置したり、洗剤が残っていると水はけ性能低下の原因になります。

イージードライフロア
使いはじめの時、床に水を流すと泡立つことがありますが異常ではありません。

日常

❶ 床に熱めのシャワーをかけて、表面の汚れを洗い流します。こびりついた汚れは先割れ加工の浴室用ブラシでこすり落とします。その後、水のシャワーで洗い流し、軽くからぶきをします。

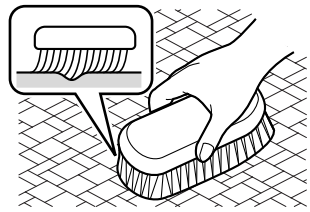
❷ 換気扇を回すか、窓を開けます。



月に１回

❶ 浴室用合成洗剤（中性）と先割れ加工の浴室用ブラシでやさしくこすり洗いをします。

❷ シャワーで洗剤を洗い流し、軽くからぶきをします。



汚れが目立ってきたら

床コーナー付近等に黒ずんだ汚れが発生し、浴室用合成洗剤（中性）やカビ取り剤で取り除くことができない場合があります。このような場合は、先割れ加工の浴室用ブラシを使い、かき出すようにすると取り除くことができます。

※ 先割れ加工の浴室用ブラシはP.30をご参照ください。

■床まわりのコーキング材の場合

週に1回

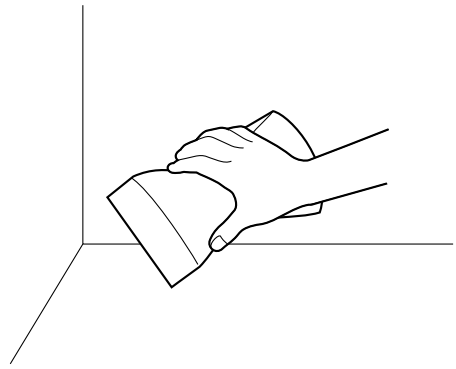
浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。

汚れが目立ってきたら

目地にカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤をお使いください。

※ カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

※ 床まわりのコーキング材が切れたりはがれたりしている場合、漏水する恐れがあります。目地材が切れたりはがれたりしている場合は、LIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。（P.59参照）

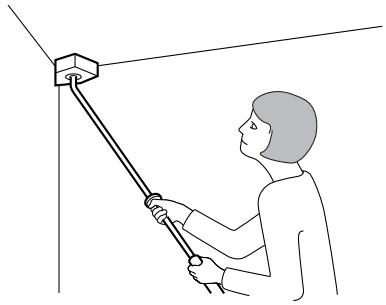


天井のお手入れ

月に1回

❶ 水分にホコリがついて固まると、カビが生えやすくなります。長い柄がついたスポンジ等に浴室用合成洗剤（中性）をつけて軽くこすります。

❷ 汚れを落とした後は、洗剤分を残さないようによく水で洗い、乾いた布で水分をしっかりふきとってください。



■天井点検口

月に1回

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがつきます。

床排水トラップのお手入れ

シリーズにより床排水トラップのお手入れ方法が異なります。
表紙の裏の「対象品番の見方」、「品番を調べるには」を参照して該当する箇所をご覧ください。

⚠ 注意

排水トラップ本体のフランジは絶対にゆるめないでください。
※排水トラップが外れ、**漏水の原因**となります。

BP、BLPシリーズの場合、お手入れ後は排水トラップの奥についている掃除口キャップを必ず閉めておいてください。
※ **水があふれたり、異臭がする恐れ**があります。

週に１回

● ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

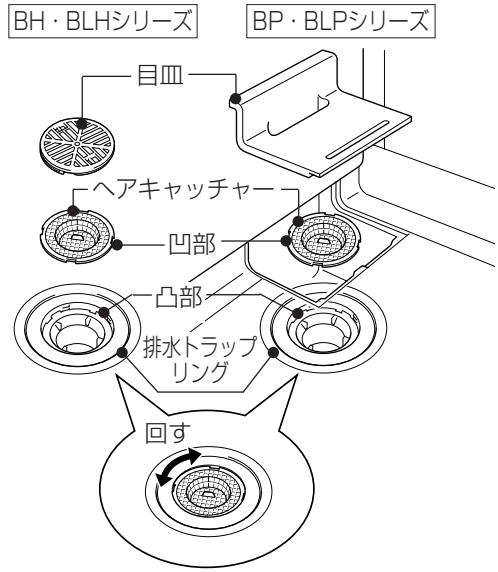
❶ 目皿を外し、ヘアキャッチャーを左（反時計回り）に回して取り外します。

❷ ヘアキャッチャーや排水トラップ周囲にたまったゴミを取り除きます。汚れは歯ブラシ等で落とします。

❸ 目皿や目皿のまわりについているヌメリや汚れを落とします。

❹ お掃除後は右（時計回り）に回して取り付け、目皿を元通りにセットしてください。
※ ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲にゴミがたまったまま使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管の詰まりの原因になります。

※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



浴槽水を排水した際に、排水トラップからゴボゴボ音がする場合があります。これは一度に多くの水を排水した場合に一時的に起こる現象で、異常ではありません。
※ゴボゴボ音がしている間は排水トラップの水（封水）の水位が下がりますが、浴槽水の排水が終わると元に戻ります。

月に１回

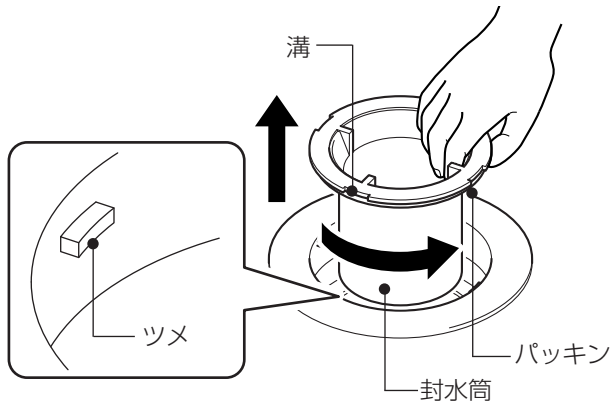
● 床排水トラップ内部のお手入れ

封水筒・排水トラップ内部のお手入れ

❶ 封水筒を左（反時計回り）に「止まるまで」回し、排水トラップのツメと封水筒の溝の位置を合わせ上へ引き上げます。

❷ 封水筒と排水トラップ内の汚れをスポンジや歯ブラシ等で洗い落としてください。
※ 封水筒に取り付いているパッキンは外さないようにしてください。

❸ お掃除後は、封水筒を排水トラップのツメの位置に合わせて入れ込み、「止まるまで」右（時計回り）に回してください。



浴槽下のお手入れ（BPシリーズの場合）

※BLP、BH、BLHシリーズのエプロンは外せません。
表紙の裏の「対象品番の見方」、「品番を調べるには」を参照して該当する箇所をご覧ください。

⚠ 注意

- 浴槽下のお掃除は、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行ってください。
  ※ **ケガをする恐れ**があります。
- 浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
  ※ 突起部等で**ケガをする恐れ**があります。
- エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行ってください。
  ※ 端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをする恐れ**があります。
- エプロンを取り付けた後は、確実に納まっていることを確認してください。
  ※エプロンが外れ、**ケガをする恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

浴槽内に湯水が入っている場合はエプロンの取外し・取付けが難しくなります。
浴槽が空の状態で取外し・取付けを行ってください。

半年に1回

❶ 目皿を外します。

❷ エプロンを上方に持ち上げます。

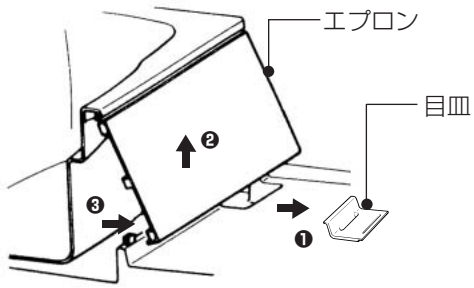
❸ エプロンを持ち上げながらエプロン下部を手前に引き出し取り外します。

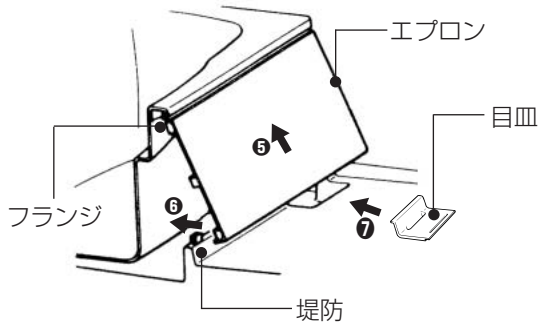
❹ 浴槽下の排水口部のヘアキャッチャーを手前に取り出し、ヘアキャッチャーや排水口周辺のゴミを取り除いてください。
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管詰まりの原因になります。

❺ お掃除後はエプロンを持ち上げ、上端をフランジ内に差し込みます。

❻ エプロンを持ち上げたまま、エプロンの下端を右図の堤防に乗せます。

❼ 最後に目皿を取り付けます。





鏡のお手入れ

お願い

・磨き粉等粒子の粗い研磨剤が入っているコンパウンドは鏡をキズつけてしまうのでご注意ください。

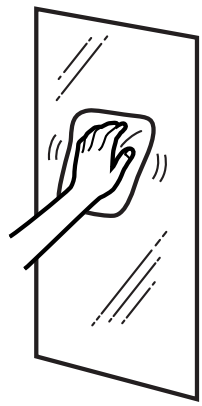
・スポンジの硬い面やナイロンタワシ等硬いものは鏡をキズつけてしまうのでご注意ください。

日常

飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡にシャワーをかけて洗い流します。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。

週に１回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



汚れが目立ってきたら

スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけて水アカのついた部分をこすり落とします。汚れを落とした後は、洗剤分を残さないようによく水で洗い、乾いた布で水分をしっかりふきとってください。

鏡がくもる場合は

鏡をくもりにくくする商品（鏡くもり止めキット）がありますので下記を参照ください。

■鏡くもり止めキットでのお手入れ

❶ 水または固く絞ったきれいなタオルで鏡表面のホコリを除去した後、鏡表面の水分をふきとってください。

❷ 浴室鏡のクリーナーボトルをよく振った後、同梱の布に少量を取りむらなく直線的に数回こすってください。

❸ きれいなタオルを使いながら水で薬剤を洗い流した後、十分に乾燥させてください。（汚れのない乾いた面に塗る方が浴室鏡のくもり止めの効果が持続します。）

❹ 浴室鏡のくもり止めボトルをよく振った後、10～20cm離して鏡にスプレーし、ティッシュ等で一面に薄く広げて乾燥させてください。（半日程度乾燥状態で放置すると浴室鏡のくもり止めの効果が持続します。）
※ 入浴後にシャワーのお湯または水を全面にかけながら、やわらかいスポンジで洗っていただきますと、効果が持続します。

ONE POINT ワンポイント

●鏡の表面の白濁した汚れは、車用ワックスを柔らかい布等に付けて、ふきとってください。ふいたあとはよく乾ぶきしてください。
●鏡は長く使用している間に、塗膜を通して水分や酸素の影響を受けます。そして鏡の周辺部に黒っぽいシミのようなものが発生します。（浴室は湿度が高いため、周辺部以外にも発生することがあります。）この黒っぽいシミは取り除くことができないため、鏡のお取り替えのサインです。

お手入れ方法/アクセサリー類のお手入れ

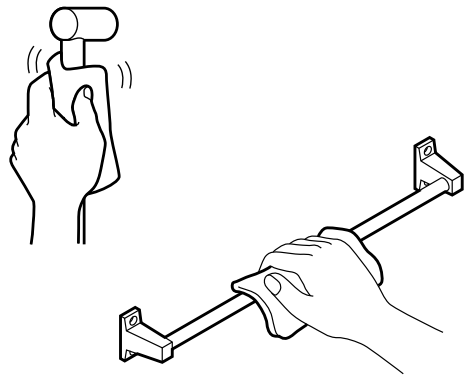
握りバー・スライドバー・タオル掛のお手入れ

週に１回

乾いたやわらかい布で、汚れをふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※ 酸・アルカリ性の洗剤等がつかないようにしてください。メッキを傷めます。



汚れが目立ってきたら

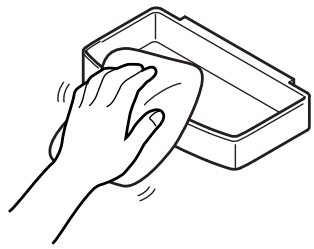
浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。

収納部・カウンターのお手入れ

お願い

・どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、収納部やカウンター等には塗布後長時間放置しないでください。
・洗剤分を残さないように十分水で洗い流してください。
※洗剤分が残っていると、**材質が変色したり変質する恐れ**があります。

シャンプーやリンスのボトルの底についた液だれを放置すると、カビやヌメリの原因となるため、収納棚やカウンター表面の汚れはこまめにふきとってください。



週に１回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。

汚れが目立ってきたら

収納棚や収納部のとびらを取り外し、浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、隅々までの汚れを落とします。

シャワーをかけて洗い流し、収納棚や収納部のとびらを取り付けます。

■収納棚の取外し・取付け

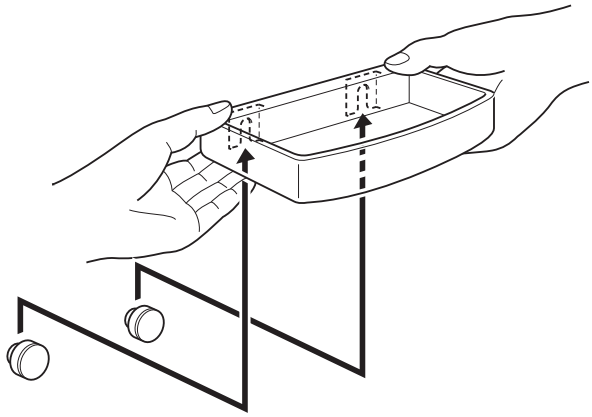
● 収納棚を取り外す

収納棚の汚れが目立ってきた場合等は収納棚を取り外して行ってください。
（お手入れ方法はお手入れガイドをご覧ください。）

❶ 収納棚の両側を持って、上に持ち上げて外します。

❷ 収納棚を水平になるよう元通り取り付けてください。

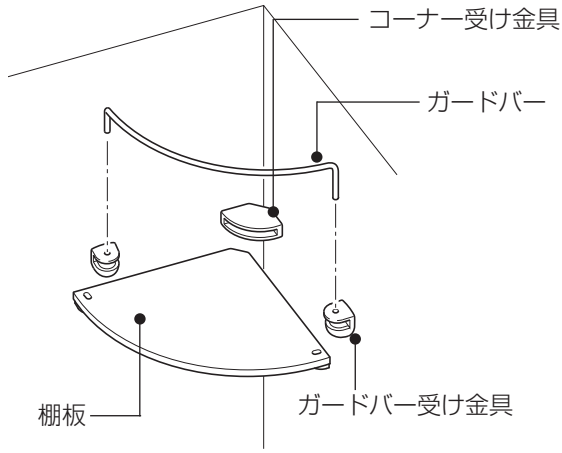
※ 小物フック付収納棚、高級収納棚も同様です。



● コーナー収納棚を取り外す

❶ ガードバーを外します。

❷ 棚板を手前に引いて外します。



水栓のお手入れ

⚠ 注意

メタル調シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL修理受付センターに修理、交換を依頼してください。（P.59参照）
※ そのまま使用すると**ケガをする恐れ**があります。

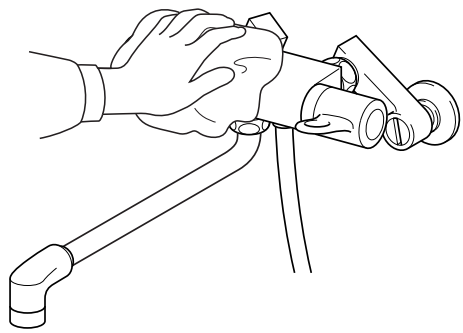
お願い

水栓金具の印字部分（温度表示や切替表示等）にメラミンフォーム（P.30参照）を使わないでください。
※温度表示等の**印字が消える恐れ**があります。

水栓の表面についた石けんカスや水アカを放置すると取れにくくなります。飛び散った泡等はシャワーで洗い流してください。さらに水気をふきとっておくと、水アカの防止になります。

週に１回

浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけ、汚れを落とし、シャワーで洗い流します。そのとき軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



月に１回

付着した石けんカスや水アカを、浴室用合成洗剤（中性）または歯みがき粉でこすり落とします。

洗剤分が残らないように十分に水洗いし、からぶきします。

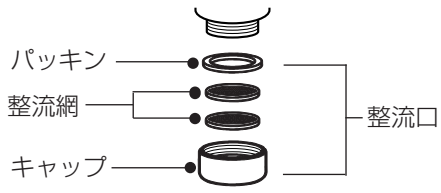
■整流口のお手入れ

半年に１回

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミ等を取り除きます。その後、水洗いをしてください。

※ 取り付けるときに、整流網を逆向きにしないようにご注意ください。

※ 取り外すことのできない水栓もあります。



お手入れ方法/水栓のお手入れ

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら、散水板やストレーナーのお掃除を行ってください。
※散水板やストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。以下の要領でお掃除してください。

■シャワー散水板のお手入れ

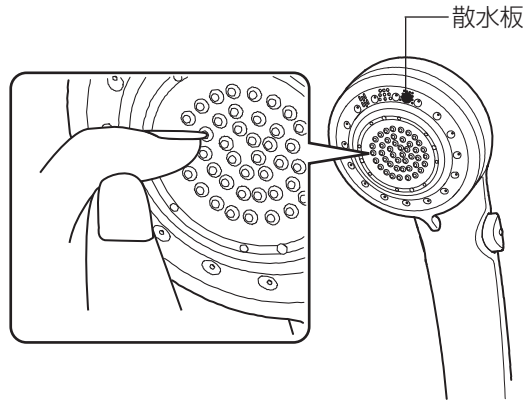
詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

お願い

・スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。
・散水板は取り外さないでください。

シャワーの水量が少なくなってきたら

ゴム製散水板の場合は指でこすり、歯ブラシや針等を使用しないでください。
ゴム製散水板がない場合は、歯ブラシまたは針等でお掃除します。



ONE POINT ワンポイント

散水板にゴミが詰まりますと、正しい方向に散水されなかったり止水後もポタポタとシャワーヘッドから水が垂れることがあります。この場合はシャワー散水板のゴミをつまようじ等で取り除いてください。

■ストレーナーのお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

ストレーナーをお掃除する際、配管、取付金具等に注意してください。
※ **ケガをしたりヤケドをする恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

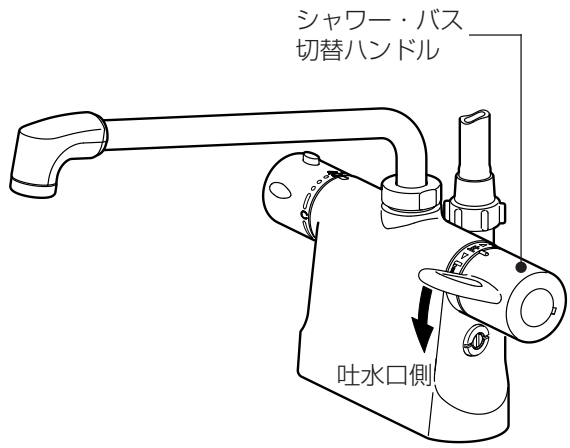
止水栓の開け閉めにより、配管中のゴミが流れ出して再度ストレーナーが目詰りをする場合があります。
ストレーナーを元に戻す前に止水栓をわずかにあけてゴミを洗い流し、止水栓を閉じてください。

● サーモスタット付デッキ水栓の場合

❶ 屋外に設置された止水栓を閉じます。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを吐水側いっぱいまで回します。

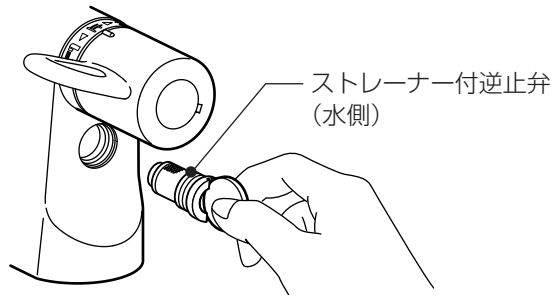
※ 水栓内部の圧力を抜くとともに、止水していることを確認してください。

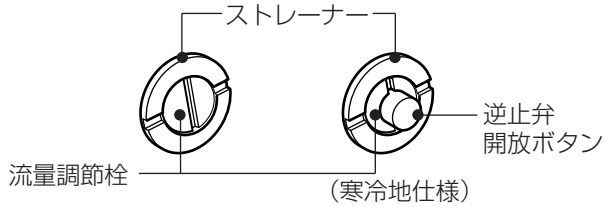


❸ コイン等でストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

※ ストレーナーの溝にコイン等を差し込み、回して外します。
（寒冷地仕様の場合は、逆止弁開放ボタンを押しながら回します。）

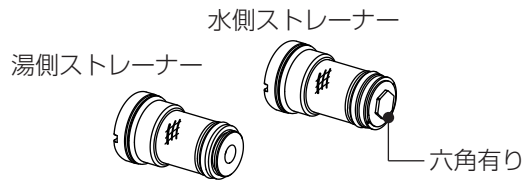
※ ストレーナーは、湯側（左）と水側（右）の両方に付いています。
（湯側と水側のストレーナーの見分け方は右図をご参照ください。）





❹ 組付けは逆の手順で行い、屋外に設置された止水栓を元の位置に戻し通水します。

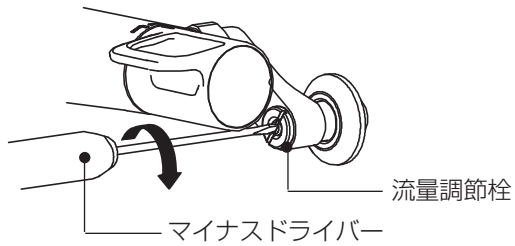
（湯側と水側のストレーナーの見分け方）



お手入れ方法/水栓のお手入れ

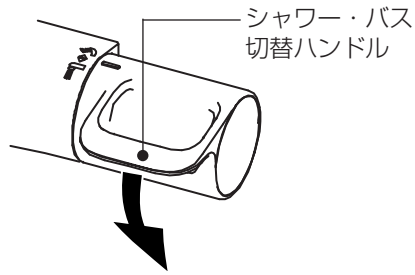
● 壁付サーモ水栓の場合

❶ 湯側（左）と水側（右）の流量調節栓をマイナスドライバー等で時計回りいっぱいねじ込みます。



❷ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

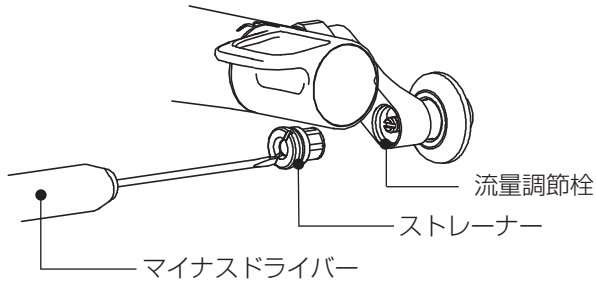
※ 止水されていることを確認してください。



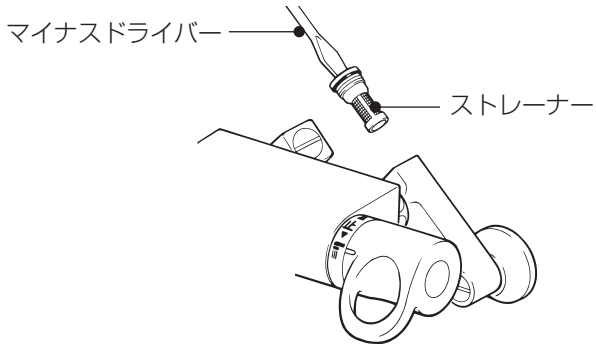
❸ 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を取り除きます。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。

❹ 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。

<クロマーレ、ノルマーレの場合>



<アステシア、ミーティスの場合>



■冬期凍結の恐れがある場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

● サーモスタット付デッキ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。

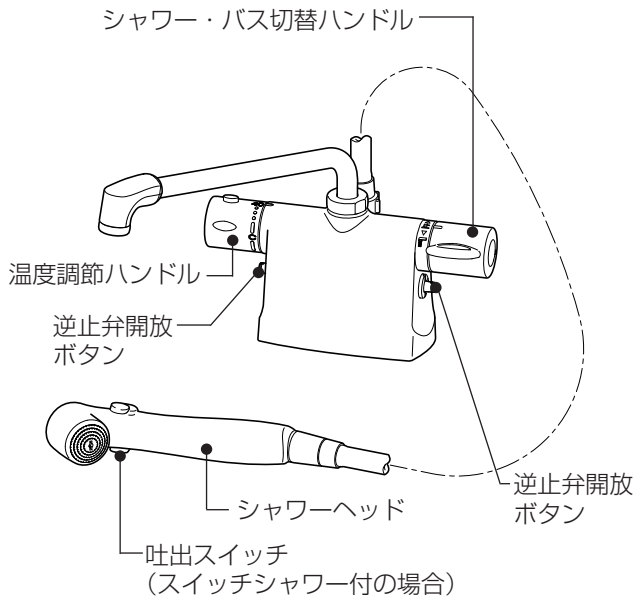
❸ 逆止弁開放ボタン（2個）を押します。

❹ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❺ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

❻ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

※ 再通水前には、逆止弁開放ボタンを戻し、シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。



● 壁付サーモ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。

❸ 温度調節ハンドルを「C」側いっぱいに回します。

❹ 本体の水抜栓を開けます。

❺ シャワーヘッドを最上段のシャワーフックにかけたまま、シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（上）に回します。

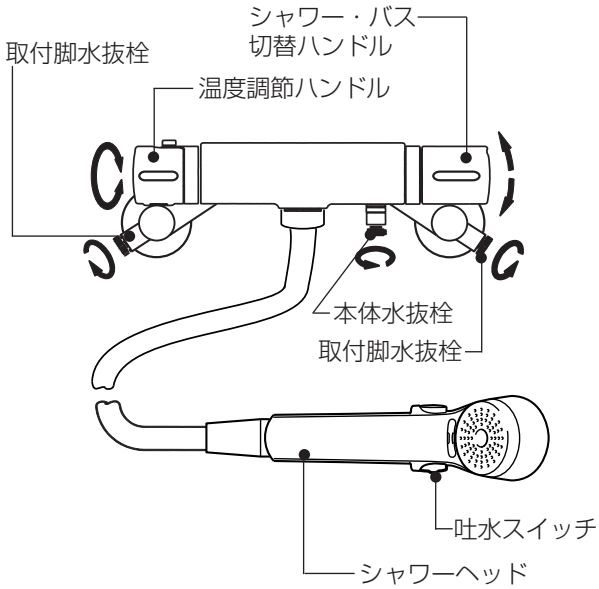
❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❼ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❾ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

※ 再通水前には水抜栓を閉めてください。



お手入れ方法/水栓のお手入れ

● 壁付ツーハンドル水栓の水抜方法（寒冷地仕様の場合）

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

❶ 配管の水抜操作をします。

❷ 湯側ハンドル、水側ハンドルを開けます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（右）に回します。

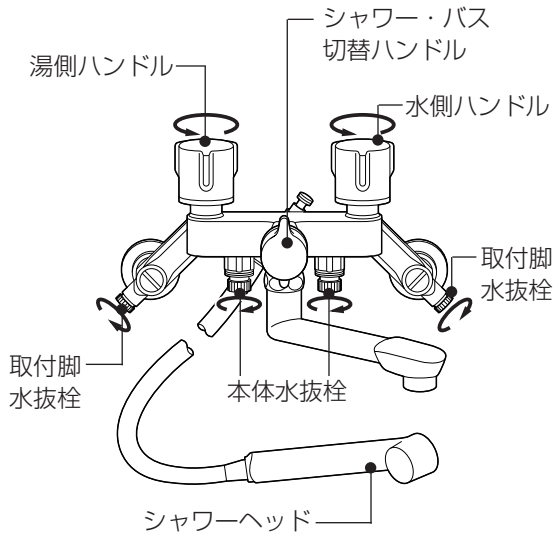
❹ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。

❺ 本体の水抜栓（2か所）を開けます。

❻ シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（左）に回します。

❼ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

※ 再通水前には水抜栓を閉めてください。



● ツーハンドル水栓（デッキタイプ）の水抜方法（寒冷地仕様の場合）

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

❶ 配管の水抜操作をします。

❷ 湯側ハンドル、水側ハンドルを開けます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（右）に回します。

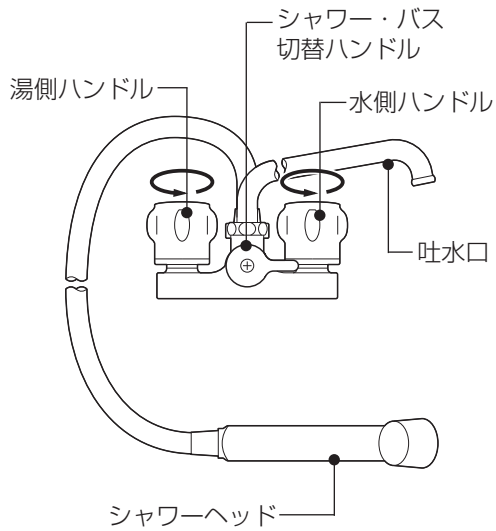
❹ 吐水口を振って水をよく切ります。

❺ 本体の水抜栓（2か所）を開けます。

❻ シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（左）に回します。

❼ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

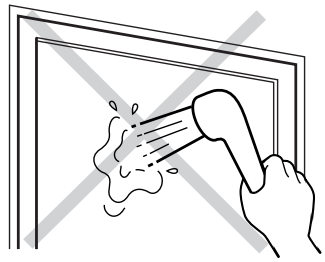
※ 再通水前にはシャワー・バス切替ハンドルを吐水口側にしてください。



ドアのお手入れ

日常

飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡をしめらせた布でふきとります。
このとき、ドアパッキンはカビが発生しやすいので、水分をよくふきとることをお勧めします。



※ ドアを洗う時に、ドアに直接水をかけないでください。ドア外へ水が飛散する場合があります。

※ ドア枠にたまったゴミはこまめに取り除いてください。キズの原因となります。

汚れが目立ってきたら

ドアやドアの下、ドアのまわりのパッキン等の汚れがひどい場合は、浴室用合成洗剤（中性）を薄めて歯ブラシ等につけ、洗ってください。

洗剤分が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。

※ ガラリ部分（空気取入口）も目詰まりしないよう、こまめに掃除機等で吸い取ります。

※ ブラシ・研磨剤・研磨剤の入ったスポンジ・汚れている布等は**面材をキズつける恐れ**がありますので使用しないでください。

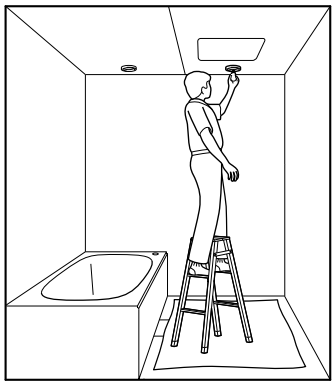
照明のお手入れ

⚠ 警告

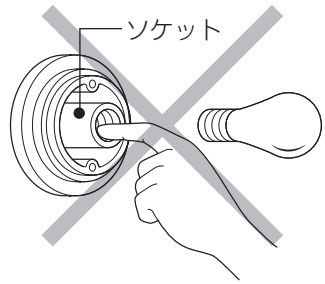
- 本体表示を確認し、ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
  ※ **火災の恐れ**があります。
- ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
  ※ **感電やショートする恐れ**があります。
- 照明カバーを外した状態で照明器具に直接水をかけないでください。
  ※ **故障や漏電をする恐れ**があります。
- ランプおよびゴムパッキン、キャップ等の部品は確実に取り付けてください。
  ※ **感電、ケガ、故障、動作不良の恐れ**があります。

⚠ 注意

- ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。
  浴槽の上に乗って作業をしないでください。
  ※ **ケガをする恐れ**があります。



- 照明カバーは確実に取り付けてください。
  ※ 落下して**ケガをする恐れ**があります。
- ソケット内部を布等でお手入れしたり、指を入れないでください。
  ※ **故障や感電の恐れ**があります。



- ランプが切れてもすぐに交換しないでください。
  ※ 器具やランプが熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。
- ソケットに無理な力や衝撃を加えないでください。
  ※ **破損や故障の恐れ**があります。

汚れが目立ってきたら

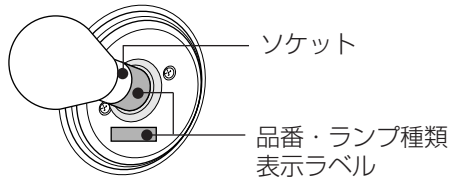
浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

湿らせた布で洗剤をふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつく恐れがあります。

■照明ランプの交換方法

お使いの照明器具の品番、ランプの種類をご確認ください。
照明器具のソケット、またはソケット周辺に品番・ランプ種類表示ラベルがあります。



下表で適合ランプを確認します。
※確認結果をマークしておくと、次回のランプ交換が簡単になります。

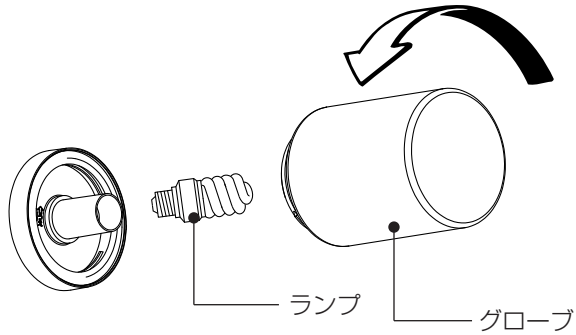
● スリム照明・円筒形照明の場合

❶ 照明スイッチを切ります。

❷ グローブを左に回して取り外します。

❸ 新しいランプに交換します。

❹ グローブを右に回してガタつき、ゆるみのないように取り付けます。



スリム照明の場合

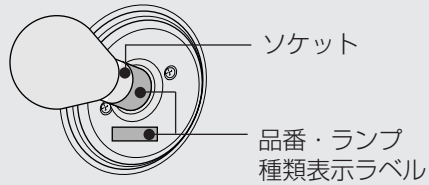
＜適合ランプ＞

照明器具の品番	ランプ名称	ランプ品番	定格電圧
LW-で始まる壁付照明器具	ホワイト電球60W形54W	LW100V54W	AC100V
EFD-で始まる壁付照明器具	蛍光ランプ60W形（消費電力15W以下） 形状：D形、またはA形	EFD15EL EFA15EL	
LDA-で始まる壁付照明器具	LEDランプ 形状：A形 LEDランプはパナソニック LDA11L-Gを推奨します。パナソニック LDA9L-Hは光の広がりが狭いため、グローブに光ムラが出る場合があります。	・パナソニック LDA11L-G ・パナソニック LDA9L-H （2012年2月時点）	

※電球形蛍光ランプまたは電球形LEDランプへおとりかえの場合は、P.52をご参照ください。

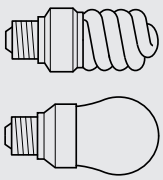
ONE POINT ワンポイント

電球形蛍光ランプおよび電球形LEDランプの使用について
照明器具によって、電球形蛍光ランプおよび電球形LEDランプが使えます。
下表でお使いの照明器具の品番、ランプの種類をご確認の上、正しくお使いください。



ランプの種類	照明器具の品番	口金サイズ
白熱ランプ	LW-で始まる照明器具	E26

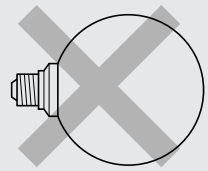
電球形蛍光ランプ品番	電球形LEDランプ品番
EFD15EL EFA15EL	·パナソニック　LDA11L-G ·パナソニック　LDA9L-H （2012年2月時点） パナソニック　LDA11L-Gを推奨します。パナソニック LDA9L-Hは光の広がりが狭いため、グローブに光ムラが出る場合があります。

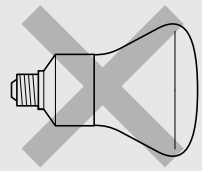
ランプの種類	照明器具の品番	口金サイズ
電球形蛍光ランプ 	EFD-C1-2A	E26
	上記以外のEFD-で始まる照明器具	E26

電球形LEDランプ品番
·パナソニック　LDA11L-G （2012年2月時点）
·パナソニック　LDA11L-G ·パナソニック　LDA9L-H （2012年2月時点） パナソニック　LDA11L-Gを推奨します。

電球形蛍光ランプ・電球形LEDランプ使用時のご注意

- 梱包箱に記載されている注意事項をよく読みお使いください。梱包箱に「密閉型器具対応」の表示があるものをご使用ください。
- G形（ボール電球形）、R形（レフランプ形）は使用できません。火災の恐れがあります。
- 調光コントローラ、ヒーリングライトの調光機能がついている場合は使用できません。
  ※照明器具が故障する恐れがあります。
- 交換するランプによっては光の広がりが異なり、グローブに光ムラが出る場合があります。
- 電球形蛍光ランプは、点灯するまでに数秒かかったり、点灯後明るくなるまでに少し時間がかかります。
  ※故障ではありません。
- ＬＥＤにはバラつきがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。
- ＬＥＤは点灯後、明るさが若干変化します。


G形
（ボール電球形）


R形
（レフランプ形）

換気扇・暖房機のお手入れ

※ 商品により形状が異なる場合があります。代表的なお手入れ方法を説明しておりますので、必ず各換気扇・暖房機の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 警告

当社指定の修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ **火災・感電・ケガの原因となります。**

本体・リモコン・スイッチに直接お湯やカビ取り剤等をかけないでください。
※ **ショートや感電の恐れ**があります。

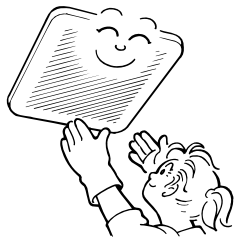
お手入れの際は分電盤のブレーカーを切ってください。
※ **感電やケガをする恐れ**があります。

分電盤のブレーカーを濡れた手で切・入しないでください。
※ **感電の恐れ**があります。

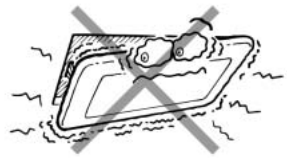
⚠ 注意

高い所での作業になります。
ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。
浴槽やカウンターの上にのって作業をしないでください。
※ 転倒して**ケガをする恐れ**があります。

ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※ **ケガをする恐れ**があります。



フロントカバーやフィルターは確実に取り付けてください。
※ 落下により**ケガをする恐れ**があります。



暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーター等本体にふれないでください。
※ **ヤケドをする恐れ**があります。

■換気扇の場合

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。
フロントカバーや羽根にホコリ等が付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。下記を目安にお手入れをしてください。

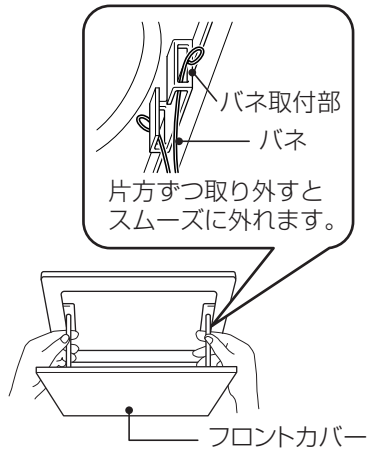
お願い

本体内部のファン等機械部分に無理な力をかけないでください。
※**故障の原因**となります。

月に１度

❶ 運転を停止し、分電盤のブレーカーを切ります。

❷ フロントカバーを引き下げて、バネを狭めながら取り外します。



ONE POINT ワンポイント

フロントカバーの裏側に結露水が溜まっている場合があります。
奥側に傾け、溜まった結露水を落として取り外してください。

❸ フロントカバー
ぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。
本体
適量に薄めた浴室用合成洗剤（中性）を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。
洗剤が残らないように乾いた布で洗剤をふきとります。

ONE POINT ワンポイント

羽根にホコリなどが付いている場合は、細いすき間ブラシ等で取り除きます。

❹ フロントカバーのバネを狭めながら、バネ取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。

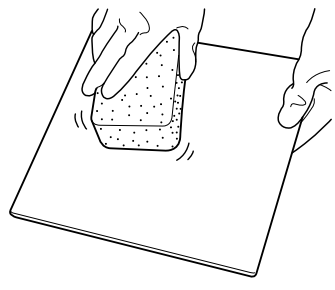
汚れが目立ってきたら

❶ 運転を停止し、分電盤のブレーカーを切ります。

❷ フロントカバーを引き下げて、バネを狭めながら取り外します。

❸ 適量に薄めた浴室用合成洗剤（中性）をやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきとります。
洗剤が残らないように湿らせた布で洗剤をふき取ります。

❹ フロントカバーのバネを狭めながら、バネ取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。



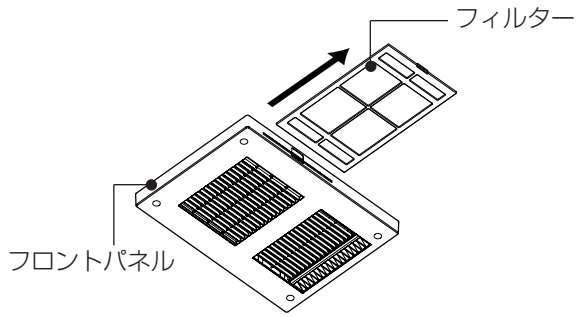
■換気乾燥暖房機の場合

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。

● **フィルター**（フィルターのないタイプもあります。）

フィルターにゴミやホコリがたまると性能が低下します。

※3室換気乾燥暖房機の場合は、トイレや洗面室の副吸込グリルのフィルターもゴミやホコリを取り除いてください。

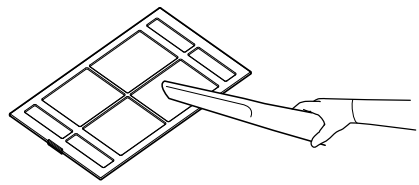


月に１度

換気乾燥暖房機本体のお手入れ

❶ 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ フィルターの取っ手を引っ張りフィルターを取り外します。



❸ フィルターについているホコリは掃除機で吸い取ります。

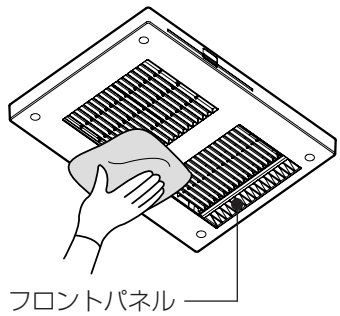
❹ フィルターを元通りに取り付けます。

● **本体、リモコン**

月に１度

❶ 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ 乾いたやわらかい布、または、ぬるま湯に浸し、かたく絞った布で汚れをふきとってください。

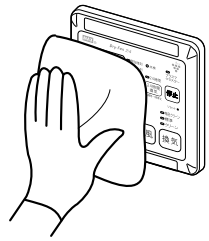


汚れが目立ってきたら

❶ 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ 浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

❸ 湿らせた布で洗剤をふきとってください。



メンテナンス時の点検口の取外し

電気配線や配管関係等の点検・修理の際に電気・設備工事業者様へお知らせください。

⚠ 注意

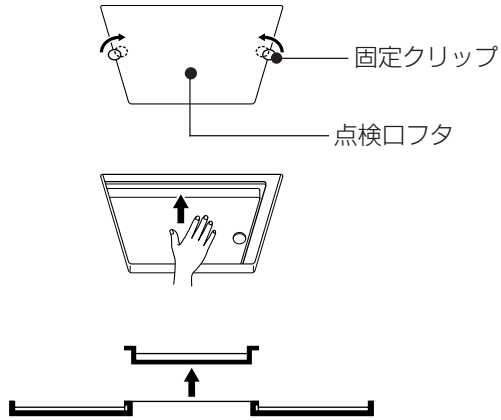
点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や天井破損の恐れ**があります。

点検口フタ固定クリップは、必ず留めてください。
※ 点検口フタが落ちて**ケガをする恐れ**があります。

❶ 固定クリップを点検口フタ側に回します。

❷ 天井点検口フタを押し上げます。

❸ 点検口フタを再び取り付ける場合は、点検口フタを点検口に戻し、固定クリップを天井側に回します。



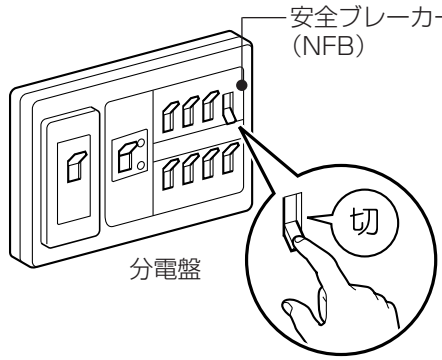
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

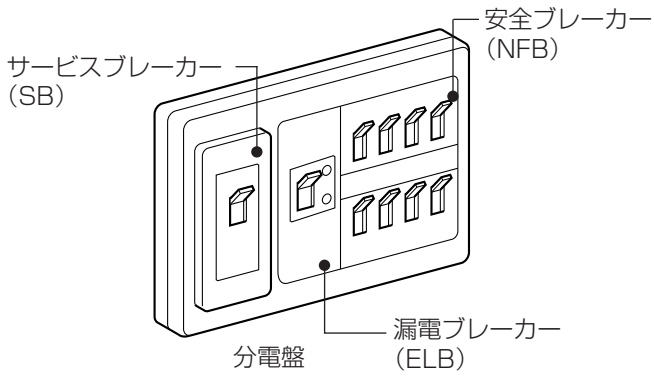
⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ **発火したり、異常作動してケガをする恐れ**があります。
※ 異常のまま運転を続けると**火災や漏電・漏水の恐れ**があります。

浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。
※ 異常のまま運転を続けると**火災や漏電の恐れ**があります。



浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。
※ **浴室の電気器具等に異常がある恐れ**があります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、**火災や漏電等の重大故障の恐れ**があります。



商品が故障したらP.58の「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合はお客様相談センターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

部　位	現　象	原　因	確認・対応方法	参照ページ	
床	床の一部に水が流れない場所がある	床に汚れが付着している	床をお掃除します	36	左記の対応をしても直らないときは、修理を依頼してください
床排水口	床に流したお湯がなかなか排水されない	排水トラップまたはヘアキャッチャーが目詰まりしている	排水トラップまたはヘアキャッチャーのお掃除をします	38	
	排水口から異臭がする	封水筒が外れている	封水筒を正しく設置します	38	
		排水口内にゴミがたまっている	排水口内のゴミを取り除き、汚れがあればお掃除します	38	
	浴槽水排水の際、ゴボゴボ音がする	浴槽水排水等により起こる一時的な現象です。	異常ではありません	38	
天井	天井点検口がガタついている	天井点検口が固定されていない	天井点検口を固定します	56	
ドア	ドアが開かない	ドアが施錠されている	ドアを解錠します	16～19	
	とびらの開閉が急に重くなった、とびらが開かなくなった	スライドピースが外れたり、外れかけている	アームストッパーを外して、スライドピースを付け直します（U型）	19	
浴槽	ドア下枠から脱衣室側へ水が出る	とびら下排水口に毛髪、ゴミがたまっていて、水が排水口へ流れない	とびら下排水口のゴミを取り除きます	–	
	お湯がたまらない（翌朝浴槽水が減っている）	排水栓、排水コアが正しく取り付いていない	排水栓および排水コアを正しく取り付けます	34	
	排水に時間がかかる	排水口、排水コアに毛髪、ゴミがたまっている	排水口、排水コアのゴミを取り除きます	34	
	次の方が入った時にはお湯が冷めている	風呂フタをしてないため、湯が冷めやすい	風呂フタをします	6	
水栓	水（湯）の出が悪い	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのお掃除をします	45～46	
	湯温が上がらない、または一定にならない	給湯の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	–	
		給湯器の温度設定が低い	給湯器の設定温度を、使用する最高温度より10℃以上高く設定します	–	
		水栓からの吐水量が少なく、給湯器が着火していない	水栓からの吐水量を多くします	–	
		給湯の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	–	
		ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのお掃除をします	45～46	
		サーモスタット水栓の温度調節がズレている	温調ハンドルの設定をしなおします（水栓の取扱説明書をご覧ください）	–	
		キッチンや洗面所等他の場所でお湯を使っている	他の場所の流量をしぼります	–	
シャワー	止水後、数秒間シャワーヘッドからポタポタ水が垂れる	シャワーヘッド内の残留水によるものです。水栓の止水不良ではありません。	シャワーフックに戻す場合はシャワーヘッド内の残留水を良く切ってから戻してください	14	
収納	収納がガタつく	収納棚が正しく固定されていない	収納棚を正しく固定します	42	
照明	照明が点灯しない	ランプがソケットにしっかりとはまっていない	ランプをソケットに確実にはめます	50～51	
		ランプの寿命が切れている	ランプを交換します	50～52	
換気扇 換気乾燥暖房機	こげくさい 本体に異常を感じたら	直ちに停止ボタンを押して運転を終了させ、分電盤のブレーカーを切ってください（P.57の警告参照）詳しくは各取扱説明書をご覧ください		–	
給湯器・給湯器のリモコン	こちらの場合は、各取扱説明書をご覧になるか、給湯器メーカーへ連絡してください			–	

故障かな？と思ったら

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容
1.おなまえ・おところ・電話番号
2.商品名・品番←表紙裏ページの「対象品番の見方」参照
3.管理ナンバーシールの番号
4.取付年月日
5.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←P.58の「故障かな？と思ったら」参照
6.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先
修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）
LIXIL修理受付センター
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456
受付時間　9：00～20：00（365日受付）

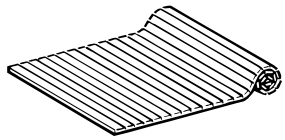
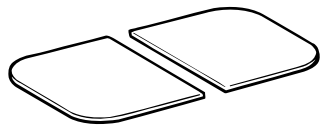
交換部品のご案内

交換部品について

当社では、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。

■風呂フタ

ご使用のシステムバスルームサイズによって、適合風呂フタが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

	巻きフタ		組みフタ	
				
	交換部品品番	税込価格(送料別途)	交換部品品番	税込価格(送料別途)
BP-1216SBZEタイプ	—	—	YFK-1275B(8)	16,800円
BP-1116SBZE2タイプ	—	—	YFK-1175B(9)	15,750円
BP-1216,BLP-1216の各タイプ	BL-S72119-K	5,460円	—	—
BP-1116,BLP-1116の各タイプ	BL-S72109-K	5,145円	—	—
BH-1216でオプション水栓を選択した場合*1	BL-S64117L-K	5,040円	—	—
BH-1216,BLH-1216の各タイプ	BL-S64117-K	5,040円	—	—
BH-1116,BLH-1116の各タイプ	BL-S63107-K	4,725円	—	—
BH-1115,BLH-1115の各タイプ*1	BL-SC59107L-K	4,725円	—	—
BH-1115,BLH-1115の各タイプ*2	BL-SC59107R-K	4,725円	—	—
BH-1014,BLH-1014の各タイプ	BL-S58097-K	4,095円	—	—

＊1　浴槽に向って左側に水栓があるタイプ
＊2　浴槽に向って右側に水栓があるタイプ

■浴槽排水栓

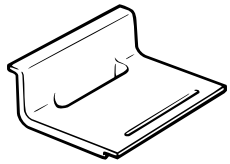
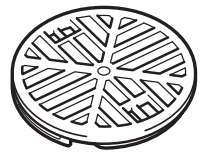
● ゴム栓

対象品番	交換部品品番	税込価格（送料別途）
BP,BLP-1116の各タイプ	RC-5P-L500	976円
BP,BLP-1216の各タイプ	RC-5G-L500	1,155円
BH,BLHの各タイプ	RC-5P-L500	976円

お客さまご自身で交換される場合は、鎖の付け根にあるリングを外して取り替えてください。浴槽に取り付けてある金具を外すと、お湯が漏れる恐れがあります。

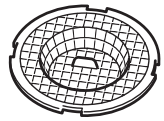
交換部品のご案内

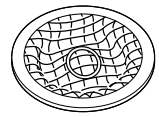
■目皿

				
	交換部品品番	税込価格(送料別途)	交換部品品番	税込価格(送料別途)
BP-1116, BLP-1116の各タイプ	M-FA(3)/色	315円	—	—
BP-1216, BLP-1216の各タイプ	M-FA(8)/色	1,008円	—	—
BH, BLHの各タイプ	—	—	M-1835/W	252円

■床排水口

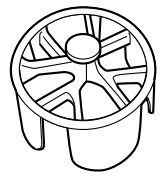
対象品番	交換部品品番	税込価格(送料別途)
BP, BLPの各タイプで鋳鉄トラップの場合	TS-M(5)	441円
上記以外の各タイプ	TS-A(7)	283円


TS-A（7）


TS-M（5）

■浴槽排水口（排水コア）

対象品番	交換部品品番	税込価格(送料別途)
BH, BLHの各タイプ	PBF-5H-C4	126円


PBF-5H-C4

交換部品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスを利用される場合
当社商品の販売店でお求めください。	LIXILオンライン（通信販売係）の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） 0120-194-602 受付時間　9：00～17：00 （土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く）

※ ご必要になりました部品品番やその他ご不明点につきましては、裏表紙のお客さま相談センターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

保証と保証期間について

当システムバスルームは、取付日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、有料による修理とさせていただく場合がございます。詳しくは、保証書（65ページ）をご覧ください。
※機器については、各商品に付属の取扱説明書をご覧ください。

地上デジタルチューナー内蔵浴室テレビをご使用の場合、浴室テレビに付属のB-CASカードは、当社保証の対象外となります。当社にて再発行、交換を行うことはできません。

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。
※ 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

定期点検のオススメ（有料）

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。
・ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、入居から2年を経過したもの
・温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
・別荘等、長期間にわたってご使用されていないもの
定期点検については、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

アフターサービスについて

廃棄について

浴室ユニットを廃棄処分する場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼いただくようお願い致します。
浴室ユニット廃棄部材の不法投棄等がありました場合は、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。
浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

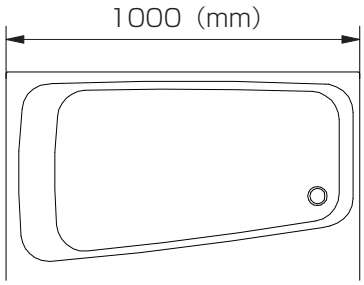
部位	種類	材料
床	FRP	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	タイル	陶器質、セメント系無機質板、鋼管
	鋼板	塩化ビニール樹脂金属積層板もしくはポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	—	ポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
浴槽	FRP	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
エプロン	—	ポリスチレン

浴槽のサイズ・容量について

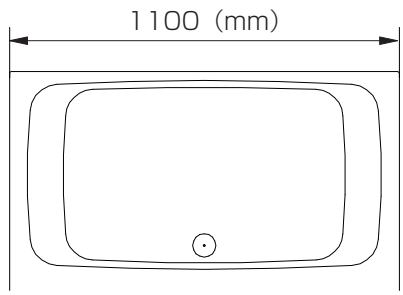
浴槽のサイズ・容量について

浴槽のサイズによって満水量や実用水量が異なります。実用水量は、実際に入浴後の最大水量の目安です。

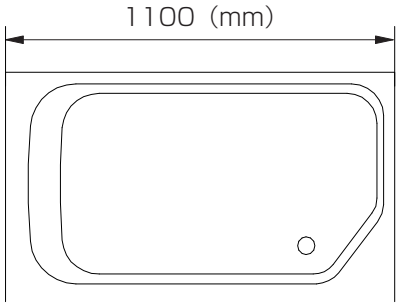
■BHシリーズ



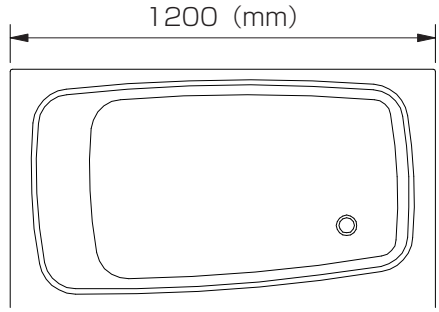
	1014サイズ
浴槽容量（L）	193
実用水量（L）	133



	1115サイズ
浴槽容量（L）	219
実用水量（L）	159

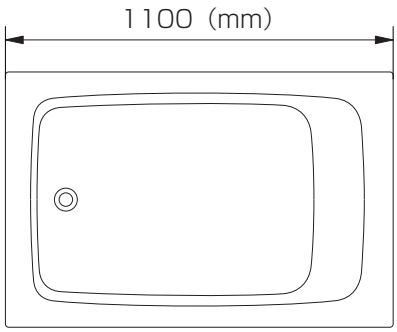


	1116サイズ
浴槽容量（L）	240
実用水量（L）	180

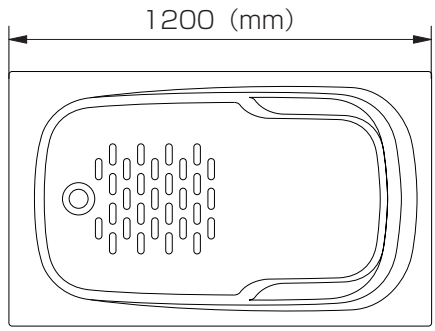


	1216サイズ
浴槽容量（L）	266
実用水量（L）	206

■BPシリーズ



	1100サイズ
浴槽容量（L）	270
実用水量（L）	210



	1200サイズ
浴槽容量（L）	270
実用水量（L）	210

保　証　書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	**ユニットバスルーム（集合住宅用）**		
保証期間	**取付日より 2ヶ年** **ただし防水性能＊は取付日から 5ヶ年**	取付日	**年　月　日**

＊防水性能とは「壁、床から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

お客さま	おなまえ　**様** おところ おでんわ　（　　）　－	取扱店名 TEL （　　）　－

無効

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居等で、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
(2) 指定業者や取付説明書等に基づかない取付およびユニットバス取付以外の工事に起因する不具合。
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷等の不具合。
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合。
(7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス）に起因する不具合。
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根等の植物の害に起因する不具合。
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷。
(10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象。
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物の詰まり等による故障および損傷。
(13) 水道水以外を給水したことに起因する故障および損傷不具合。（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷。
(15) 給水・給湯配管のサビ、砂やゴミ等の異物の配管内流入および水アカ固着に起因する不具合。
(16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障および損傷等の不具合。
(17) 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合。
(18) 熱量変更等に伴う調整等。
(19) 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
(20) 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
(21) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
(22) 建物完成後、入居までの間の管理等の不備によるもの。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400　FAX 0120-179-430
受付時間：平日　9：00～18：00
土日・祝日 9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ
TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456
受付時間：9：00～20：00
（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9：00～18：00
　　土日・祝日　　9：00～17：00
　　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
　下記番号をご利用ください。
　TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0287(13066)

プラ
袋:PE
ヒモ:PVC